

Hokkaido University News

北大時報

平成29年

12

No. 765 December 2017

平成29年度医学教育等関係業務功労者表彰に本学から2氏
総合博物館 小林快次准教授に北海道新聞文化賞





総合博物館 小林快次准教授に北海道新聞文化賞



第31回ビジネスEXPO2017

■ 全学ニュース

- 1 平成29年度医学教育等関係業務功労者表彰に本学から2氏
- 2 総合博物館 小林快次准教授に北海道新聞文化賞
- 3 AO入試合格者の発表
- 3 国際総合入試合格者の発表
- 4 帰国子女入試合格者の発表
- 5 大学入試センター試験、本学一般入試個別学力検査等実施体制等の決定
- 7 北大フロンティア基金
- 8 給付型奨学金「きのとや奨学金」を創設
- 9 平成29年度北海道大学ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座を実施
- 9 情報セキュリティセミナーを開催
- 10 2017年新渡戸スクールメンターフォーラムを開催
- 11 「日露青年フォーラム2017」を本学で開催
- 12 高等教育研修センターにて講演会等を開催
- 13 「テニユアトラック交流会」を開催
- 13 「SAPPOROおみやげパワーアップフェア in 北大」を開催
- 14 「製薬企業5社合同 共同研究公募事業説明会」を開催
- 14 第31回ビジネスEXPO2017に出展
- 15 研究者のためのスキルアップセミナー①
「北大にFacebookがやってくる～執行役員に聞くSNSの本当の使い方～」を開催

■ 部局ニュース

- 16 平成29年度低温科学研究所公開講座「広がる低温の魅力～低温科学の最前線～」が終了
- 16 メディア・コミュニケーション研究院公開講座「民意は誤りうるか？～思想史からみるデモクラシー～」が終了
- 17 歯学研究院で「健康長寿社会を担う 歯科医学教育改革」平成29年度連携シンポジウム in 札幌を開催
- 18 総合化学院が「第13回北海道大学－南京大学ジョイントシンポジウム」を開催
- 19 「総合化学院ラーニング・サテライト」をチュラロンコン大学、南京大学で実施
- 20 環境健康科学研究教育センターで平成29年度ラーニングサテライト事業－ソウル大学校との共同講義を開講
- 21 医理工学院が第1回学生研究発表会／第1回企業・医療機関・行政との交流会を開催
- 21 農学・食資源学特別講演会「統合的水資源管理と排水再利用」を開催
- 22 農学院・農学研究院・農学部で第9回Sapporo Alumni Lecturesを開催
- 23 文学研究科で特別支援室の活動に関するFD研修を開催

- 24 経済学研究院・経済学院・経済学部で外国人留学生懇親会を開催
- 24 経済学部で公認会計士・監査審査会会長の特別講演会を開催
- 25 経済学部で札幌国税局長の特別講演会を開催
- 26 経済学部特別講演会を開催
- 26 経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センターでシンポジウムを開催
- 27 工学系部局で安全衛生管理講演会を開催
- 27 歯学研究院で「動物供養祭」を挙行政
- 28 薬学研究院・薬学部で「実験動物慰霊祭」を挙行政
- 28 薬学研究院・薬学部で消防訓練を実施
- 29 北海道大学病院で指導医ワークショップを開催
- 30 北海道大学病院で平成29年度地域連携懇話会を開催
- 30 北海道大学病院で総合防災訓練を実施
- 31 北極域研究センターで北極域課題解決人材育成講座「北極域科学概論」を開催
- 32 第15回脳科学研究教育センターシンポジウム「脳を知る」を開催
- 33 保健センターで第6回健康キャンパス北大「予期せぬ危険から身を守ろう」を開催
- 34 物質科学リーディングプログラムが第5回国際シンポジウムを開催

■ 諸会議の開催状況 35

■ 学内規程 35

■ 研修

- 36 平成29年度北海道大学教務事務実務研修

■ 表敬訪問 36

■ 人事 37

- 37 新任教授紹介

■ 訃報

- 38 名誉教授 高橋 邦秀 氏

■ 資料

- 39 平成29年度外国人留学生数（平成29年11月1日現在）
- 40 平成29年度国別外国人留学生数（平成29年11月1日現在）
- 41 北大時報掲載記事事項別一覧（平成29年掲載分）

低温科学研究所 平成29年度公開講座
「広がる低温の魅力～低温科学の最前線～」文学研究科
特別支援室の活動に関するFD研修工学系部局
安全衛生管理講演会北海道大学病院
指導医ワークショップ

表紙：2017年新渡戸スクールメンターフォーラム（関連記事10頁に掲載）

裏表紙：北の鉄道風景⑤ 大雪の中を

■全学ニュース

平成29年度医学教育等関係業務功労者表彰に本学から2氏

本年度の医学教育等関係業務功労者として、本学から北海道大学病院 看護部副看護師長 安部佳子氏、同医療技術部放射線部門診療放射線技師 門馬弘司氏が表彰され、11月28日（火）文部科学省3階講堂において、表彰式が行われました。

この表彰は、文部科学省が毎年、医学または歯学に関する教育・研究若しくは患者診療等の補助的業務に従事し、顕著な功労のあった方々に対して行うものです。

各氏の表彰にあたっての感想を紹介します。

（総務企画部広報課）



北海道大学病院 看護部
副看護師長
あべ よしこ
安部 佳子 氏



北海道大学病院 医療技術部放射線部門
診療放射線技師
もんま ひろし
門馬 弘司 氏

11月28日（火）に東京で開催された医学教育等関係業務功労者表彰式に参加してまいりました。

私は昭和61年に北海道大学病院に入職し31年間、6部署で勤務させていただき、患者さんとの関わりから多くのことを学びました。

最初に勤務した小児科では、病と闘いながら回復できなかった子どもと家族への関わりに無力を経験することもありましたが、それ以上に子どもたちが成長発達する姿や笑顔に励まされていました。整形外科では、悪性腫瘍と告知され「最後まで積極的な治療を受け、病と闘う姿を子どもに見せたい」と治療を望んだ患者さんに出会いました。患者さんの価値観を家族と共に共有し、その思いに寄り添い、家族を支援することの大切さを痛感しました。婦人科では、常に家族の中心にいた主婦の患者さんが、身体が思うようにならない状態でも家族のことを一番に考え、影で涙しても明るく振る舞っていました。患者さんの思いをくみ取り関わることを学びました。精神科では、変化する病状に対して、患者さんとの距離の持ち方や言葉を選んで伝えることを学びました。再び勤務をした小児科では、子どもたちとの関わりに加え、退院後の養育について両親が自ら考え実施できるように取り組んできました。最後の勤務部署となった医科外来ナースセンターでは、これまで病棟で培ったことを土台に、患者さんが安心して安全に過ごせるような生活支援を行い、後輩の育成に努めてまいりました。

そして、私が最も大切にしてきたことはチームワークです。配属されたどの部署でも、苦楽を共にする仲間と仕事ができました。ここまでお導きくださった、諸先輩、歴代の看護部長、副看護部長、看護師長、同僚の皆様我心から感謝いたします。

この度は、医学教育等関係業務功労者として表彰を賜り、身に余る栄誉と深く感謝申し上げます。表彰にあたり、ご推薦いただきご尽力いただきました関係各位の皆様心より厚くお礼申し上げます。

私は、昭和57年歯学部附属病院に診療放射線技師として勤務して以来35年、歯科X線撮影検査を中心とした業務に携わって参りました。勤務当初にはデジタル画像処理が可能なX線TVの導入やCT装置のSpiralCTへの更新など当時としては画期的な最新鋭の装置を揃え、先輩技師の方と沢山の研究をしたことが思い出されます。その後、平成11年デンタル画像以外のデジタル化、同14年医療情報システム等の導入、翌15年医科・歯科統合による業務内容の変更や人員削減など職場環境が大きく変化し、その流れについて行くのに必死でした。そして、平成20年待望だったデンタルのデジタル化が実現し、歯科の画像検査の全てがフィルムレスとなり、歯科の先生方の読影環境や私達技師の業務環境が大きく改善されました。その後、CCDイメージセンサによるデンタルポータブルシステムの導入や、平成25年歯科用コーンビームCTの稼動、同年に医科直結の新棟への移転に伴う患者動線や技師動線の改善、そして今年、頭部X線規格撮影装置の更新で平面X線検出器使用のシステムが導入されるなど、日々進化していく職場で充実した毎日を送らせていただきました。

最後になりますが、この功労者表彰を受賞できたのは、長年にわたり私を支え、ご指導いただきました諸先輩方、同僚たちのご支援の賜物と深く感謝し、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

（北海道大学病院）

総合博物館 小林快次准教授に北海道新聞文化賞

総合博物館の小林快次准教授に、北海道新聞社より北海道新聞文化賞が授与され、11月9日（木）に授賞式が行われました。

この賞は、昭和22年以来北海道文化の振興に寄与した社会事業、学術、芸術、教育、産業経済などで著しい業績のあった個人、団体等に贈られるもので、「社会」「学術」「経済」の3部門があり、同氏は「学術部門」で「『むかわ竜』の化石発掘など国内外の恐竜研究に貢献」というタイトルで受賞されました。

同氏は、国内外の恐竜を調査・研究することによって、本学を「日本恐竜研究の拠点」とすることに成功し、世界に最新研究の情報発信を続けています。主な研究内容は、恐竜進化の解明と恐竜の生活の復元です。特に、食性や繁殖の進化をたどることによって、恐竜から鳥類への進化の謎を追い求め、かつて鳥類固有と考えられていた特徴や行動が恐竜にも存在していたことを解明しています。また、海外の発掘調査に力を入れており、特に環太平洋の地域（米国、カナダ、モンゴル、

日本など）で毎年調査を行い、白亜紀後期（約1億年から6,600万年前）の北米大陸とアジア大陸の恐竜の多様性、恐竜の移動、極限環境である高緯度への適応能力などを明らかにしています。

さらに、胆振管内むかわ町で大型恐竜の化石の発掘を指揮し、全国的にもまれな全身骨格の発見につなげました。これは、国内最大の大型恐竜全身骨格でその大きさは8メートルにも及び、日本では史上最高の恐竜化石です。「むかわ竜」は、植物食恐竜（ハドロサウルス科）で、海の地層から発

見されるものとしては世界で3例目、恐竜研究の歴史に残る世界的な大発見となりました。また、同氏は、学術面のみならず、北海道の魅力推進のためにも大きく貢献し、今回の受賞となりました。

同氏の持つ鋭い視点は、今後も世界規模での発掘の助けとなるだけでなく、恐竜研究の歴史にも次々と新たな足跡を刻んでいくことと思います。さらなる活躍が期待されます。

（総合博物館）



授賞式後の記念撮影(左から藤田正一名誉教授, 名和豊春総長, 小林准教授, 中川光弘総合博物館長)

AO入試合格者の発表

平成30年度AO入試は、募集人員59名に対し、105名の出願があり、自己推薦書、個人評価書等の出願書類による第1次選考合格者に対して、11月26日（日）に第2次選考の課題論文と面接試験を実施し、12月12日（火）に合格者発表を行い、17名が合格しました。

なお、大学入試センター試験を課す医学部及び工学部の合格者発表は、2月6日（火）を予定しています。

（学務部入試課）

平成30年度AO入試合格者数等一覧

学部・学科等		募集人員	志願者数	倍率	合格者数
理学部	物理学科	5	3 (1)	0.6	0
	地球惑星科学科	5	20 (7)	4.0	4 (2)
医学部	医学科	5	5 (1)	1.0	
	保健学科	7	20 (11)	2.9	
	看護学専攻 作業療法学専攻	4	4 (2)	1.0	
歯学部		5	13 (3)	2.6	5 (1)
工学部	応用理工系学科 (応用マテリアル工学コース)	4	4 (2)	1.0	
	環境社会工学科 (社会基盤学コース)	4	1	0.3	
水産学部		20	35 (3)	1.8	8 (1)
計		59	105 (30)	1.8	17 (4)

※ () 内の数字は、道内高校出身者で内数

国際総合入試合格者の発表

国際総合入試は、「北海道大学近未来戦略150」に掲げるグローバル人材の育成のため、国や地域、学問分野を超えたボーダーレスなグローバル社会を生き抜き、リードする意欲と資質を持った人材を人物本位で選抜することを目的として平成30年度入試より導入したもので、主な対象者を国際バカロレア資格等の取得者としています。

募集人員15名に対し、12名の出願があり、自己推薦書、志望理由書等の出願書類による第1次選考合格者に対して、11月26日（日）に第2次選考の面接試験を実施し、12月12日（火）に合格者発表を行い、5名が合格しました。このうち、4名は国際バカロレアの最終スコアが1月に発表のため、条件付合格となっています。

なお、条件付合格者の最終合格発表は、2月6日（火）を予定しています。

（学務部入試課）

平成30年度国際総合入試合格者数等一覧

学部・学科等		募集人員	志願者数	倍率	合格者数 (条件付合格者含む)	最終合格者数
総合入試	文系	5	5 (4)	1.0	3 [2]	
	理系	10	7 (7)	0.7	2 [2]	
計		15	12 (11)	0.8	5 [4]	

※ () 内の数字は、女子で内数

※ [] 内の数字は、条件付合格者数で内数

帰国子女入試合格者の発表

平成30年度帰国子女入試は、11学部にて63名の出願があり、出願書類による第1次選考合格者に対し、11月26日（日）に第2次選考の課題論文と面接試験を実施し、12月12日（火）に合格発表を行い、8名が合格しました。

(学務部入試課)

平成30年度帰国子女入試合格者数等一覧

学部・学科等		募集人員	志願者数	合格者数	
文学部		若干名	4 (1)	-	
教育学部			2	-	
法学部			7 (2)	3 (1)	
経済学部			4 (2)	3 (1)	
理学部	数学科		-	-	
	物理学科		1	-	
	化学科		2	-	
	生物科学科		生物学専修分野	1	-
			高分子機能学専修分野	-	-
	地球惑星科学科		1	-	
医学部	医学科		11 (4)	-	
	保健学科		看護学専攻	5 (4)	1 (1)
			放射線技術科学専攻	-	-
			検査技術科学専攻	1 (1)	-
			理学療法学専攻 作業療法学専攻	1	-
歯学部	-		-		
薬学部			-	-	
工学部	応用理工系学科		3 (2)	-	
	情報エレクトロニクス学科		-	-	
	機械知能工学科		12	1	
	環境社会工学科		2	-	
農学部		1 (1)	-		
獣医学部		3 (1)	-		
水産学部		1 (1)	-		
計		1	8 (3)		

※ () 内の数字は、女子で内数

大学入試センター試験，本学一般入試個別学力検査等 実施体制等の決定

11月28日（火）開催のアドミッションセンター企画運営会議・総務部門・試験場部会合同会議において，平成30年度大学入試センター試験及び本学一般入試個別学力検査等に係る実施体制等を決定しました。

なお，大学入試センター試験については，藤女子大学，天使大学，東海大学札幌キャンパス，北海道武蔵女子短期大学との共同実施となります。

主な事項は，次のとおりです。

(学務部入試課)

大学入試センター試験

1 実施本部の設置

試験実施について総括し，連絡・調整するため実施本部を設け，その下に総務部，試験場部，救急医療部，連絡部及び広報部を置く。

2 試験場及び担当学部

(札幌市)

試験場・会場	試験場所	担当学部等
北海道大学試験場		
農学部会場	農学部	農学部
人文・社会科学総合教育研究棟会場	人文・社会科学総合教育研究棟	※経済学部・法学部
理学部会場	理学部	理学部
工学部会場	工学部	工学部
高等教育推進機構A会場	高等教育推進機構E棟2階	※文学部・教育学部
高等教育推進機構B会場	高等教育推進機構E棟3階	※歯学部・薬学部
保健科学研究所会場	保健科学研究所	※獣医学部・医学部
高等教育推進機構N会場	高等教育推進機構N棟	実施本部・武蔵女子短大
藤女子大学試験場	藤女子大学	※藤女子大学・天使大学・東海大学

※は，複数学部で担当する試験場の主担当学部

(函館市)

試験場	試験場所	担当学部
北海道大学水産学部試験場	水産学部	水産学部

なお，監督者説明会を平成30年1月5日（金）及び1月10日（水）に学術交流会館で開催しますので，監督者等となった方はいずれか一方に必ず出席願います。

本学一般入試個別学力検査等

1 実施本部の設置

試験実施について総括し、連絡・調整するため実施本部を設け、その下に総務部、出題部、採点部、試験場部、救急医療部、連絡部及び広報部を置く。

2 試験場及び担当学部

前期日程

試 験 場	試 験 場 所	担 当 学 部
第1試験場（農 学 部）	農 学 部	農 学 部
第2試験場（人文・社会科学総合教育研究棟）	人文・社会科学総合教育研究棟	※教 育 学 部 ・ 文 学 部
第3試験場（理 学 部）	理 学 部	理 学 部
第4試験場（工 学 部）	工 学 部	工 学 部
第5試験場（高等教育推進機構E棟1階、2階）	高等教育推進機構E棟1階、2階	※医 学 部 ・ 獣 医 学 部
第6試験場（高等教育推進機構E棟3階）	高等教育推進機構E棟3階	※薬 学 部 ・ 歯 学 部
第7試験場（保健科学研究所）	保 健 科 学 研 究 院	※法 学 部 ・ 経 済 学 部
第8試験場（高等教育推進機構N棟2階）	高等教育推進機構N棟2階	実 施 本 部

※は、複数学部で担当する試験場の主担当学部

（上記8試験場で受験者を収容できない場合、別の試験場を設けることがある。）

（第5試験場は、高等教育推進機構大講堂、N1、N2の教室を含む。）

（第5試験場の2日目は医学部が担当する。）

後期日程

試 験 場	試 験 場 所	担 当 学 部
第1試験場（農 学 部）	農 学 部	農 学 部
第2試験場（人文・社会科学総合教育研究棟）	人文・社会科学総合教育研究棟	※経 済 学 部 ・ 法 学 部
第3試験場（理 学 部）	理 学 部	理 学 部
第4試験場（薬 学 部）	薬 学 部	薬 学 部
第5試験場（歯 学 部）	歯 学 部	歯 学 部
第6試験場（工 学 部）	工 学 部	工 学 部
第7試験場（高等教育推進機構E棟1、2階）	高等教育推進機構E棟1階、2階	※文 学 部 ・ 教 育 学 部
第8試験場（高等教育推進機構N棟）	高 等 教 育 推 進 機 構 N 棟	獣 医 学 部
第9試験場（高等教育推進機構E棟3階）	高 等 教 育 推 進 機 構 E 棟 3 階	医 学 部
第10試験場（水 産 学 部）	水 産 学 部	水 産 学 部
第11試験場（高等教育推進機構N棟2階）	高 等 教 育 推 進 機 構 N 棟 2 階	実 施 本 部

※は、複数学部で担当する試験場の主担当学部

なお、監督者説明会を前期日程は平成30年2月13日（火）及び2月15日（木）、後期日程は3月5日（月）及び3月7日（水）に高等教育推進機構大講堂で開催しますので、前期日程又は後期日程において、監督者等となった方はいずれか一方に必ず出席願います。

北大フロンティア基金

北大フロンティア基金は、本学の創基130年を機に、教育研究の一層の充実を図り、これまで以上に自主性・自立性を発揮して大学としての使命を果たすため、平成18年10月に創設しました。

募金目標額は50億円です。奨学金制度の充実や留学生への支援などの学生支援を中心に、研究支援、学部等支援など様々な事業を行っており、期限を付さない、息の長い募金活動することとしています。

皆様には基金の趣旨にご賛同いただき、ご協力をお願いします。

北大フロンティア基金情報

基金累計額（11月30日現在）

21,506件 4,279,339,981円

11月のご寄附状況

法人等7社、個人105名の方々から30,002,000円のご寄附を賜りました。

そのご厚志に対しまして感謝を申し上げますとともに、同意をいただいている方々のご芳名、銘板の掲示、感謝状の贈呈について掲載させていただきます。（五十音別・敬称略）

寄附者ご芳名（法人等）

医療法人 亀田病院、KKR札幌医療センター、電源開発株式会社、戸田建設株式会社 札幌支店、斗南病院、北大医学部46期、株式会社メディカルシステムネットワーク

寄附者ご芳名（個人）

合川 正幸	浅野 賢二	足利 雄一	荒巻 久晃	有馬 研司	井口 光雄	伊藤 秀行	入澤 秀次
岩下 明裕	岩村 克詔	内山 英司	大久保盛厚	太田 全彦	大塚 榮子	大森 桂一	大矢 理子
奥山 淳	小内 透	小原 大和	帰山 雅秀	柏崎 博久	加藤 元	金川 眞行	川上 誠
河本 充司	國枝 保幸	小菅 充	小長井奎幸	今野 英一	斉藤 久	坂口 究	桜田 通雄
佐藤 八雷	三升畑元基	志済 聡子	清水 昇	白尾 誠二	杉崎 順平	鈴木 穰	瀬名波栄潤
谷野美智枝	種村 剛	土家 琢磨	寺澤 睦	豊田 威信	名和 豊春	新美 優	丹羽 祐勝
板東 幸春	樋口 栄作	久留 和成	福田 勝洋	福田 文治	逸見 勝亮	松野 一彦	松本 香織
峰村 昭彦	村山 一啓	山田 立哉	吉田 仁	吉田 広志	芳村 仁	渡辺 康了	

銘板の掲示（20万円以上のご寄附）

（法人等）

医療法人 亀田病院、KKR札幌医療センター、電源開発株式会社、株式会社メディカルシステムネットワーク

（個人）

岩村 克詔、内山 英司、奥山 淳、川上 誠、佐藤 八雷、志済 聡子、谷野美智枝、丹羽 祐勝、芳村 仁、渡辺 康了

感謝状の贈呈

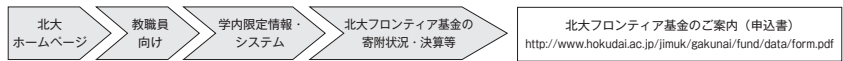


社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院 様
(平成29年11月29日)

ご寄附のお申し込み方法

①給与からの引き落とし

申込書は、本学ホームページの「学内限定情報・システム」からダウンロードし、ご記入の上基金事務室に提出してください。



②郵便局または銀行への振り込み

基金事務室にご連絡ください。払込取扱票をお渡します。

③現金でのご寄附

寄附申込書に現金を添えて、事務局財務部経理課収入担当にご持参ください。申込書は、本学ホームページから上記①の要領でダウンロードしてご記入いただくか、各部局事務担当及び事務局財務部経理課収入担当にご用意していますので、ご利用ください。

④クレジットカードでのご寄附

北大フロンティア基金ホームページ (<http://www.hokudai.ac.jp/fund/form.html>) のクレジットカード寄附申込フォームから申込をお願いします。

北大フロンティア基金に関する問い合わせ 基金事務室 (事務局・学内電話 2017)

(総務企画部広報課)

給付型奨学金「きのとや奨学金」を創設

本学ではこの度、経済的に困窮する学生を支援するための給付型奨学金「きのとや奨学金」を創設することとしました。

本学は、キャンパスが大きな被害を被った平成16年の台風18号の惨状を目のあたりにした株式会社きのとやの長沼昭夫会長(昭和47年本学水産学部卒)から、キャンパス再興のために何か役立ちたいという申し出を受け、ミルククッキー「札幌農学校」の売上げ

の一部を平成17年4月から毎年度支援金としていただいておりますが、キャンパスへの支援のみならず、学生への支援、特に学びたい意欲がありながら経済的に困窮し就学に支障のある学生に学業に専念できる環境を整えたいという長沼会長からの強い意向を受け、新たに給付型の奨学金である「きのとや奨学金」を創設するに至ったものです。

また、株式会社きのとやからの支援

金が、平成29年度上期をもって累計1億円を超えたことから、11月13日(金)の「きのとや奨学金」創設の発表と併せて、名和豊春総長から長沼会長に感謝状を授与しました。

なお、同奨学金制度は平成30年4月入学者から適用することを予定しています。

(学務部学生支援課、総務企画部広報課)



「きのとや奨学金」創設を発表する名和総長



名和総長から長沼会長への感謝状贈呈



株式会社きのとや 長沼会長

平成29年度北海道大学ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座を実施

総務企画部人事課では、本学事務職員の一層の人材育成を図るため、「北海道大学ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座」を実施しました。

本育成講座は、事務職員の企画力を醸成し、総長ガバナンスを推進する体制を強化するとともに、総長室及び運営組織等における教員との協同体制を充実させることを目的としており、事務局各部長から推薦を受けた事務職員9名を本年度の受講生として決定し、学務、研究、国際の3つのグループに各3名の編成でそれぞれの課題に取り組みました。

9月7日（木）の開講にあたっては、徳久治彦理事・事務局長による開講の挨拶及び全体講義が行われ、その後約2ヶ月にわたって、グループごとに指導担当部長（出口寿久学務部長、山崎淳一郎研究推進部長、島竜一郎国際部長）のもと、受講生は本学の現状等に基づくケーススタディに関して詳しく説明を受けた後、新たな企画提案プロジェクトについて検討を重ねました。この間、各グループでは指導担当部長を交えたディスカッションのほか、受講生が自主的に情報収集や意見

交換を行うなど、それぞれの課題に積極的に取り組みました。また、昨年度の本講座の修了生がその経験を活かしてサポート役として参画し、グループ別検討はより一層充実したものとなりました。

11月14日（火）に開催した全体発表では、名和豊春総長をはじめ理事並びに事務局の部課長等が多数聴講する中、各グループで企画したプロジェク

トのプレゼンテーションを行いました。各グループともこれまで検討を重ねてきた成果を発表したほか、総長や理事からの質問等に対して受講生が応えるなど、活発な質疑応答が行われました。最後に名和総長から全体を通じた講評があり、受講生9名全員が本講座を修了しました。

（総務企画部人事課）



徳久理事・事務局長による開講の挨拶



プレゼンテーションの様子



質疑応答の様子



名和総長による講評

情報セキュリティセミナーを開催

11月14日（火）に工学部フロンティア応用科学研究棟2階レクチャーホール（鈴木章ホール）において、情報環境推進本部主催の「平成29年度北海道大学情報セキュリティセミナー」を開催しました。

本セミナーは、全教職員・学生を対象として企画されたもので、はじめに、南 弘征情報セキュリティ対策室長から、情報インシデントが起きた場合の被害・影響の甚大さについてお話があった後、引き続きトレンドマイクロ株式会社上級セキュリティエバンジェリストの染谷征良氏による「サイ

バー攻撃の最新動向といまからできるセキュリティ対策」と題する講演が行われ、情報セキュリティの最新の動向と対策のポイント（ランサムウェア被害、標的型サイバー攻撃、ビジネス

メール詐欺等）について、事例の再現ビデオなども交えた解説がありました。

セミナーにはテレビ会議システムによる参加も含めて100名の参加があり、質疑応答では、サイバー攻撃に対



南情報セキュリティ対策室長による説明



講演する染谷氏

する事前対策の質問などもあり、予定時刻を超えての終了となりました。セミナー終了後のアンケートでも、回答者（回答率73.0%）の93.2%が「大変参考になった」「ある程度参考になった」との結果が得られ、日々のセキュリティ対策に役立てていただけるものと期待しています。

情報環境推進本部では今後も、サイバーセキュリティセンター（情報基盤センター）との連携協力のもと、本学の教職員及び学生の情報リテラシー向上に寄与する取組みを続けて参ります。

（情報環境推進本部）



参加者の様子

2017年新渡戸スクールメンターフォーラムを開催



新渡戸スクールメンターと共に

新渡戸スクールメンターフォーラムを11月25日（土）にフロンティア応用科学研究棟にて実施しました。

新渡戸スクールでは、社会の多様な分野で活躍する方々に新渡戸スクールのメンターに就任いただき、スクール生のキャリア意識の醸成、社会的視野の広がり、及び人的ネットワークの形成にご協力いただいています。

メンターフォーラムは、新渡戸スクール生が大学院修了後のキャリアを

念頭に、自身にとって身近なロールモデルであるメンターとの交流を通じて、自身のキャリアパスをより具体的に考える機会として、毎年開催しています。

フォーラムでは、第1部として13名のメンターによる特別講演会を行いました。今年度は「私が考えるグローバルリーダー」をテーマとし、自身のキャリアの紹介及びそれを踏まえたアドバイス等についてお話しいただきま

した。スクール生は、多様な分野でグローバルに活躍する先輩たちの話に刺激を受け、熱心に耳を傾けていました。

第2部は、スクール生が各メンターに自由に質問し対話を行う交流会として実施しました。スクール生は大学における研究活動及び今後本格化する就職活動等について積極的に質問し、アドバイスをすることができました。

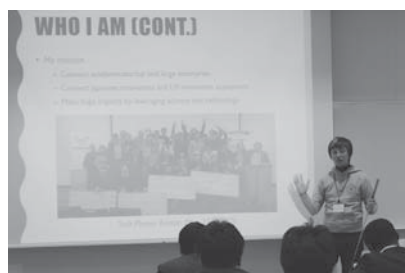
メンター講演会及び交流会を通して、スクール生は、限られた大学院生生活をどのような姿勢で学修・研究にあたり、将来のキャリアデザインに繋げていくことができるか等について、貴重な洞察を得ることができました。

今年度のメンターフォーラムは、14名の新渡戸スクールメンターのご協力を得て実施しました。ご協力いただきましたメンターの皆様に改めてお礼申し上げます。

（学務部教育推進課）



講演の様子



交流会におけるスクール生との対話の様子

「日露青年フォーラム2017」を本学で開催



集合写真

11月20日（月）・21日（火），本学を会場として，日露青年交流センター，ロシア国際青年センターとの共催で「日露青年フォーラム2017」を開催しました。

本フォーラムは，次代を担う日本とロシアの青年達が両国に共通する様々な課題について，率直な議論を行うことにより未来志向の日露関係構築を目的として，日露青年交流センターと日本各地の大学による共催で，2006年より開催されています。本学では2007年に開催しており，今回10年ぶりの開催となりました。今年のフォーラムには，日本各地の20大学から北大生8名を含む30名の学生が，ロシア各地の20機関から26名の青年が参加し，「経済交流及び人的交流拡大のための地域間協力について」を全体テーマとして，2日間にわたり活発な議論を交わしました。

議論に先立ち，20日（月）午前に関会式が開催されました。開会式では，笠原正典理事・副学長による主催者代表挨拶に続き，来賓の堀井 学外務大臣政務官，ファブリーチニコフ・アンドレイ在札幌ロシア連邦総領事，豊島厚二北海道総合政策部次長より挨拶がありました。ロシア側からは，主催者を代表してイヴァノフ・ドミトリー青年問題局国際部長から挨拶がありました。その後，スラブ・ユーラシア研究センターの岩下明裕教授による基調講演「日露関係のこれから：北海道からの視座」が行われ，参加者は日露関係

についての理解を深めました。また，基調講演後には日露の学生代表1名ずつからフォーラムテーマについて基調報告が行われました。

午後からは，「地域振興・開発」「文化的多様性」「観光と交通」の3テーマに分かれての分科会となりました。分科会では，日露参加者混合によるグループに分かれ，日露交流を活性化するための様々な方法について，それぞれのテーマに基づき活発な話し合いが行われました。夕方には，参加者懇親会が中央食堂2階で行われ，温かい食事と共に参加者が交流を楽しみました。また，懇親会では本学の「民謡研究会合唱団わだち」が，太鼓や民謡の

腕前を披露し，参加者は盛大な拍手を送っていました。

21日（火）には，参加者から分科会の成果として，テーマごとに未来に向けた日露の友好関係についての提案がなされました。続いて行われた閉会式では，西井準治理事・副学長より閉会挨拶が行われると共に，参加者一人ひとりに修了証が手渡されました。

2日間にわたるフォーラムの中で参加者は国境を越えた友情を育みました。参加者がお互いに協力し合う姿も見られ，日露関係の明るい未来が感じられるフォーラムとなりました。

（国際部国際連携課）



堀井外務大臣政務官の挨拶



岩下教授による基調講演



分科会の様子



西井理事・副学長からの修了証授与

高等教育研修センターにて講演会等を開催

高等教育推進機構高等教育研修センターでは、10・11月に以下のとおり講演会等を開催しました。

(高等教育推進機構)

講演会「伝わる話し方を心がけて」 参加者：67名

開催日：10月23日（月）

開催場所：情報教育館3階スタジオ型多目的中講義室

開催概要：大学では学生と職員、教員とが日々コミュニケーションを取るという環境にあり、仕事及び授業においても重要な相手に伝わる話し方について学ぶことを目的として開催。



平成29年度北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」 参加者：34名

開催日：11月6日（月）・7日（火）

開催場所：学术交流会館第1会議室

開催概要：職場である大学を日常業務の立場から少し離れた視点で捉え、現場で起きている様々な問題の背景、改革の方向などについて考え、他の参加者や講師と議論しながら今後の課題を探っていくことを目的として開催。



ELMS講習会～授業でELMSを活用する～ 参加者：32名

開催日：11月10日（金）、13日（月）

開催場所：高等教育推進機構2階情報処理実習室（A）E212

開催概要：教育情報システム（ELMS）は、授業などの様々な場面において活用することができる。実際にELMSを操作しながら操作方法を身につけ、Moodleを含めた活用事例等を学び、今後活用していくことを目的として開催。



第34回北海道大学教育ワークショップ 参加者：15名

開催日：11月17日（金）・18日（土）

開催場所：北広島クラッセホテル

研修概要：採用されてから5年未満の教員を対象に、授業を構成するために必要な教育の基礎を理解すること、アクティブラーニング型授業を設計する方法を理解しシラバスを作成できること、志を同じくする同志と教育について話し刺激し合うことを目的として開催。



講演会「学習意欲を高め維持するプレゼンテーションの技法」 参加者：67名

開催日：11月24日（金）

開催場所：情報教育館3階スタジオ型多目的中講義室

開催概要：授業等の人前で話をする機会における話す順番、説明の方法、スライドの作り方など、少しの意識と努力で可能な学習意欲を引き出す効果的な工夫を学ぶことを目的として開催。



「テニュアトラック交流会」を開催

人材育成本部は、11月29日（水）に総合博物館において2017年度第2回目のテニュアトラック交流会を開催しました。本交流会は、テニュアトラック教員を中心とした若手研究者が自分の研究テーマを異分野の研究者にわかりやすく解説し、部局を超えた交流や共同研究等につなげることを目的としています。

獣医学研究院の戸田知得テニュアトラック助教からは「Hypothalamic mitochondrial dynamics regulate peripheral glucose metabolism（視床下部のミトコンドリア形態変化は末梢組織の糖代謝調節に重要である）」と題した講演がありました。また、テニュアトラックOBである工学研究院のMichael HENRY准教授からは「Technology transfer for promoting the maintenance and life cycle management of infrastructure in developing countries（発展途上国におけるインフラのメンテナンスとライフサイクルマネジメント推進のための技術移転）」と題した講演がありました。講演後は他部局から参加の若手研究者からも活発に質問が出され、講演

者の研究の理解を深めることができました。

交流会の最後には、グローバルファシリティセンターの中村 葵副部門長から「Introduction to Open Facility System（オープンファシリティシステムの紹介）」と題して本学の研究

支援システムの概要と活用方法に関する説明がありました。

テニュアトラック交流会は年2回開催しており、次回は来春を予定しています。

（人材育成本部）



戸田テニュアトラック助教による講演



HENRY准教授による講演



オープンファシリティシステムを説明する中村副部門長



司会を務める医学研究科 Houman GOUDARZI テニュアトラック助教

「SAPPOROおみやげパワーアップフェア in 北大」を開催

11月27日（月）、学术交流会館において、SAPPOROおみやげパワーアップフェアが開催され、本学の留学生等による新商品モニタリングを通じた、札幌市内企業のお土産品の開発支援が行われました。

これは、札幌市が今年度より新たに取り組む外国人観光客向けお土産品開発支援事業の一環として実施され、本学と北洋銀行が支援する産官学連携の取り組みとして初めて実施されました。新たなお土産品開発に取り組む市内企業の商品展示・試食会を行い、本学の留学生等21カ国約90名によるアンケート調査を実施し、その結果分析を

通じた商品のブラッシュアップ支援を行いました。

参加した留学生は、新たな札幌のお土産品を見て食べて楽しむだけでなく、それぞれの母国の目線で、価格帯やパッケージデザインの好みなどについて出展企業と積極的に意見交換し、

地域産業の取り組みに貢献しました。

今後も本学のインターナショナルな環境を活用し、産学連携及び地域との協働を推進していきます。

（研究推進部産学連携課）



会場全体の様子



道産食材入りかまぼこを試食し評価する留学生

「製薬企業5社合同 共同研究公募事業説明会」を開催

産学・地域協働推進機構は、11月6日（月）に北海道大学病院臨床研究棟大会議室において、北海道大学病院臨床研究開発センター及び大学力強化推進本部医療・創薬科学プラットフォームと共同で「製薬企業5社合同 共同研究公募事業説明会」を開催しました。

製薬企業等が実施している共同研究公募事業の内容について、EAファーマ株式会社、旭化成ファーマ株式会社、塩野義製薬株式会社、大日本住友製薬株式会社、ブリストル・マイヤーズスタイブ株式会社から説明いただき

ました。

今回の説明会では個別面談の時間を設け、事前に各製薬企業が希望する対象疾患・領域を周知し学内・製薬企業双方から面談希望を募ることで、本学研究者と製薬企業担当者との活発な議論が行われました。また、各社の事業説明においても講演者と来場者との活発な質疑応答が行われ、盛況な会となりました。

産学・地域協働推進機構では、産学連携を推進するために、今後も共同研究公募事業に関する情報提供の機会を

設けてまいります。興味のある方はぜひご参加ください。

（産学・地域協働推進機構）



説明会の様子
（EAファーマ株式会社 久藤清香氏）

第31回ビジネスEXPO2017に出展

11月9日（木）・10日（金）、アクセスサッポロ（札幌市白石区）にて「ビジネスEXPO2017」が開催され、本学も出展しました。

ビジネスEXPOは、出展企業や機関が、新製品のアイデアや新たな販路の開拓とその拡大、事業発展のきっかけになるような新技術・新商品等を積極的にアピールすることで、来場者に新技術・新商品等を「発見」できる場の提供を目的としています。

本年は、「躍動、革新、北海道！」をテーマとして開催されました。本学のブースでは研究シーズとして、理学研究院の栗原純一特任准教授の「ドローン搭載用マルチスペクトルカメラシステム」、工学研究院の江丸貴紀准

教授の「AI・ITを活用した農業ロボットの開発」、情報科学研究科の飯塚博幸准教授の「戦略的対戦ゲーム人工知能の開発」と、グローバルファシリティーセンターの紹介展示等を行いました。多数の訪問者があり、研究シーズや共同研究開始の手続き等に関

して、具体的な相談がありました。

来場者は2日間で過去最大規模の20,850名となり、地元企業や中小企業支援機関等の関係者との交流がますます深まった一日となりました。

（産学・地域協働推進機構）



ブース展示の様子

研究者のためのスキルアップセミナー⑪「北大にFacebookがやってくる～執行役員に聞くSNSの本当の使い方～」を開催

11月22日（水）、フロンティア応用科学研究棟2階レクチャーホールにて「研究者のためのスキルアップセミナー⑪ 北大にFacebookがやってくる～執行役員に聞くSNSの本当の使い方～」を開催しました。

当セミナーは、大学力強化推進本部と創成研究機構が研究大学強化促進事業の一環として、研究者が成果等を社会に発信する際に必要となるスキル向上のために実施しています。平成25年より定期的で開催しており、今回で第11回目となりました。

今や私たちの生活に必要な不可欠なSNSの中でも、特にFacebookは汎用性が高く、多くの大学が情報発信ツールとして積極的に活用しています。しかし、実際に情報を発信する側にとってみると、手軽に始められる一方で、

更新する頻度やタイミングがわからない、いいね！の数がなかなか伸びないなど、Facebookの使い方について悩みを抱えていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。今回のセミナーでは、Facebookの有効的な活用方法を、本学で最大のいいね！数を誇るFacebookページ「いいね！Hokudai」やその他の事例を紹介しながら、フェイスブック執行役員公共政策部長の山口琢也氏に語っていただきました。

はじめに、黒岩麻里総長補佐（広報担当／理学研究院教授）より開会の挨拶があり、次に、CoSTEPの村井 貴特任助教より「いいね！Hokudai」の取り組みについて説明がありました。その後、山口氏より、「大学はFacebookをどう使うべきか」と題してご講演いただきました。Facebookの知ってお

くと便利な機能や、目に留まる記事の書き方など、フェイスブック社の裏話も交えながら、わかりやすくお話ししていただき、講演の最後には、参加者からの質問に丁寧に答えてくださいました。

今回のセミナーには、教職員・大学院生を中心に73名が参加しました。セミナー終了後に実施したアンケートでは、参加者の8割が当セミナーに「満足した」と回答しました。今後のセミナーの課題についての意見も多く、当セミナーに対する関心の高さがうかがえました。

今後も当セミナーの定期的・継続的な開催を検討していきます。

（創成研究機構）



挨拶をする黒岩教授



村井特任助教による講演



山口氏による講演



会場の様子



スタッフとの集合写真

■ 部局ニュース

平成29年度低温科学研究所公開講座 「広がる低温の魅力～低温科学の最前線～」が終了

低温科学研究所では、9月25日（月）から11月6日（月）までの毎週月曜日、全6回にわたって、公開講座「広がる低温の魅力～低温科学の最前線～」を実施しました。

本講座は「低温」をキーワードに、植物、動物、海、氷、雪、宇宙まで広

大な低温科学の魅力について各講師が語りました。

実施にあたっては10代から80代までの63名の幅広い層の方々にご参加いただき、また、各回とも受講者からは熱心な質問が多く寄せられ、盛況のうちに終了しました。

来年度以降も多くの皆様楽しんでいただけるよう、より充実した公開講座を目指していきます。

（低温科学研究所）

講義題目・講師

第1回 9月25日（月）

秋の紅葉とクロロフィルの分解 伊藤 寿 助教

第2回 10月2日（月）

ウェットな？氷表面が引き起こすオゾン層破壊 長嶋 剣 助教

第3回 10月16日（月）

化学でみる生態学：低温環境への適応性を理解する 力石 嘉人 教授

第4回 10月23日（月）

彗星の氷を作って、イオンの尾を再現してみよう 香内 晃 教授

第5回 10月30日（月）

彩雪現象：大雪山の氷雪を緑、オレンジ、赤に染める微生物について 寺島 美亜 助教

第6回 11月6日（月）

急激に変化する北極海の環境とその社会への影響 深町 康 准教授



講義風景（第3回）



講義風景（第4回）

メディア・コミュニケーション研究院公開講座 「民意は誤りうるか？—思想史からみるデモクラシー」が終了

メディア・コミュニケーション研究院では、平成29年度公開講座「民意は誤りうるか？思想史からみるデモクラシー」を、10月12日（木）から11月2日（木）まで毎週木曜日、全4回にわたり実施しました。

本講座では、デモクラシーの根本を成す概念である民意や意志について、現代的な問題を念頭に置きつつ、主に思想史的・理論的側面より考察しました。2016年の英国のEU脱退をめぐる国民投票やアメリカ大統領選挙を起点

として、主権者たる人民の意志に基づく決定というデモクラシーの根本理念がもつ諸問題について、18世紀の代表的思想家のルソーとカントを軸に論じました。

受講者の関心は高く、各回の質疑応

答の時間には活発な質疑が交わされました。最終日には受講生が修了証書を受け取り、本講座は盛況のうちに無事に終了しました。

(メディア・コミュニケーション研究院、
国際広報メディア・観光学院)



受講風景



修了証書の授与

歯学研究院で「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」平成29年度連携シンポジウム in 札幌を開催

歯学研究院では、11月10日（金）・11日（土）の2日間にわたり、「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」平成29年度連携シンポジウム in 札幌を開催しました。

本シンポジウムは、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対し、健康長寿社会の実現に寄与できる優れた医療人材の養成等を目的とした文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」の選定事業の一環として開催されたものです。平成26年度に、本学を含めた全国11の国立大学及び私立大学の連携事業として選定され、歯学教育改革の高度化を図るとともに、年に一度連携シンポジウムを開催しています。

10日（金）は、横山敦郎歯学研究院長及び本事業責任者である窪木拓男岡山大学教授からの挨拶の後、「これからの医科歯科連携教育」をテーマとし、黒澤修身文部科学省高等教育局医学教育課課長補佐及び笠原正典理事・副学長から講演が行われました。また、同日夜には懇親会が開催され、連携校の歯学部及び歯科大学との相互交流がなされました。

翌11日（土）は、井上 哲歯学研究

院教授が座長となり、「地域包括ケアと周術期口腔管理」をテーマとして、山崎 裕歯学研究院教授、秦 浩信北海道がんセンター歯科口腔外科医長、小谷 勝北海道歯科医師会常務理事、宮田靖志愛知医科大学地域医療教育学寄附講座教授から講演が行われました。午後は、「オーラルフレイルとは：老年学の視点から」と題した、平野浩彦東京都健康長寿医療センター歯

科口腔外科部長の特別講演が行われました。

各講演終了後には、これからの歯学教育のあり方、各大学・医療機関で実施されている診療・取組等に対し、活発な質疑応答がなされ、活況のうちに閉会となりました。

(歯学院・歯学研究院・歯学部)



講演する黒澤課長補佐



講演する笠原理事・副学長



特別講演を行う平野部長



質疑応答の様子

総合化学院が「第13回北海道大学-南京大学ジョイントシンポジウム」を開催



ジョイントシンポジウム参加者

10月27日（金）・28日（土）に中国・嘉興市にあるボジワンホテルにおいて、「第13回北海道大学-南京大学ジョイントシンポジウム」を開催しました。

南京大学化学化工学院（中国）とは、平成17年3月に理学研究科（当時）が部局間交流協定を締結することで研究者及び学生の交流を深め、特に先端化学に関するジョイントシンポジ

ウムを毎年交互に開催することで連携を強化してきました。平成22年からは、総合化学院を中心に本学のみならず物質・材料研究機構をはじめ外部組織とも連携し、その交流をさらに拡大しました。一方、江蘇省の中核を成す南京大学は、周辺大学と強力なネットワークを有し、シンポジウムへの参加を募ってきました。今回、上海近郊にある嘉興大学が加わり、ジョイントシ

ンポジウムを開催しました。

シンポジウムは、総合化学院担当の武田 定教授を含む各大学の代表者から各組織のアクティビティ概況の紹介で始まり、引き続き、総合化学院担当の佐田和己教授、南京大学のJunijie Zhu副学院長、嘉興大学のXiaomoing Liu学院長による基調講演や化学の幅広い分野からの19件の講演で構成され、活発な議論が交わされました。ポスターセッションには約50名が参加し、また、大学院生による16件の発表があり、中国と日本の大学院生の活発なディスカッション及び交流が行われました。なお、今回のシンポジウムは、「総合化学院ラーニング・サテライト」の受講要件の一環でもあり、先端研究を実地で学ぶ機会を提供できました。

今回のシンポジウムは、本学において開催することを約束し、盛況裏に終了しました。

（総合化学院）



佐田教授による基調講演



大学院生によるショートプレゼンテーション



会場風景

「総合化学院ラーニング・サテライト」をチュラロンコン大学，南京大学で実施



総合化学院-南京大学ラーニング・サテライト参加者

総合化学院では、平成27年度から海外ラーニング・サテライト事業による「総合化学院ラーニング・サテライト」(共同教育プログラム)を実施しており、本年度は、9月4日(月)から11日(月)までチュラロンコン大学、10月23日(月)から28日(土)まで南京大学において実施しました。

チュラロンコン大学では、Tawatchai Charinpanitkul副工学部長協力のもと、総合化学院担当の向井 紳教授、中坂佑太助教及びチュラロンコン大学のWiwut Tanthapanichakoon名誉教授とともに共同して授業を行い、向井教授は「ポーラスカーボンの製造と応用」、中坂助教は「気相及び液相における多孔質材料内の拡散」、Tanthapanichakoon名誉教授は「科学史におけるセレンディビティー」、Charinpanitkul副工学部長は「炭素系ナノ粒子の製造と応用」に関する講義を実施しました。チュラロンコン大学からは10名、本学からは8名の総合化学院の学生が特別聴講生として参加し、炭素系ナノ材料の基礎から応用まで広範な内容について学びました。授業の最後には、参加学生全員がポスター発表により自分の研究内容をお互いに紹介する学生シンポジウムを行いました。

南京大学では、コーディネーターであるDongshan Zhou教授協力のもと、総合化学院担当の武田 定教授、村越敬副学院長及び南京大学のNongjian Tao客員教授(現所属は米国・アリゾナ州立大学)とともに共同して授業を行い、武田教授は「新規スピン機能を

有するナノ材料の創出」、村越副学院長は「ナノハイブリッド材料による光エネルギーの有効利用」、Tao教授は「単分子デバイス素子の創出」に関する講義を実施しました。南京大学からは18名、本学からは6名の総合化学院の学生が特別聴講生として参加し、機能性ナノ材料の作動原理から設計、応用までの広範な内容について学びました。授業では、両校の学生あわせて5名程度からなる混成グループを構成して課題解決型のアクティブラーニングを実施し、また、学生間の議論に基づく研究提案発表も行いました。南京大学では、10月27日(金)・28日(土)に嘉興市で催された「第13回北海道大学-南京大学ジョイントシンポジウム」にも参加し、機能材料の最先端研究について、実地的な討論を行いました。



チュラロンコン大学でのラーニング・サテライトの講義の様子

今回の両大学への訪問では、授業や研究討論に加えて、大学の施設や研究室の見学の機会を得ました。また、両大学の教員と学生と一緒に科学者のキャリアパスに関する意見交換を行い、アジア地域のこれからの発展を考える等、多面的な交流を行うことができました。特に、両大学の学生達が親しく自発的に交流し、積極的に議論を深めていく姿が印象的でした。なお、チュラロンコン大学の参加学生18名については本学から、南京大学の参加学生24名については本学及び南京大学の双方から単位が付与されました。

本事業実施により、本学における先端化学の研究状況及び教育状況を南京大学の教員や研究者に広く知ってもらう機会となり、特に南京大学においては、既に共同研究や昨年度に締結したダブル・ディグリー・プログラムの運用に関する事等、多面的な情報交換を行うことができ、大変に有意義な事業となりました。

総合化学院では、来年度も海外ラーニング・サテライト事業の実施を予定しており(国立台湾大学及びスウェーデン・ストックホルム大学)、更なる交流の促進を図っていきたく考えています。

(総合化学院)



チュラロンコン大学での学生シンポジウムの様子



総合化学院と南京大学の学生による研究提案発表



環境健康科学研究教育センターで平成29年度ラーニングサテライト事業—ソウル大学校との共同講義を開講

11月2日（木）～4日（土）に、平成29年度ラーニングサテライト事業及びソウル大学校－北大ジョイントシンポジウムの分科会として、大学院共通授業「社会と健康Ⅲ Environmental and Chemicals and Human Health（環境化学物質と人びとの健康）」を、ソウル大学校公衆衛生大学院で開催しました。

本学の教員4名、ソウル大学校の教員7名が講義を提供しました。また、本学からは留学生9名を含む11名、ソウル大学校の大学院生9名、タイ・マヒドン大学の大学院生3名が履修しました。本学の履修生は、医学院、工学院、農学院、理学院、地球環境科学

院、保健科学院に所属し、日本人に加え、フィリピン、香港、バングラデシュ、インドネシア、中国、エチオピア、台湾、エジプトからの留学生が参加し、分野横断型かつ国際色豊かな講義となりました。

自己紹介及びオープニングとして環境化学物質による健康影響の問題提示に始まり、ソウル大学校及び本学で推進している環境化学物質曝露による健康影響に関する研究成果も含めた講義が提供されました。また、3大学の大学院生から構成された4チームによる事前学習課題の成果が発表され、予定の時間を超過して活発な質疑応答が行われました。課外学習では、Eco-Expo

Korea 2017を見学し、韓国における環境に考慮した企業の在り方や、新しいグリーン製品について学びました。

参加者による事後評価では、おおむね満足、この講義を勧めたい、との回答を得ました。特に、事前学習により各校の交流を深められたことが大変有意義でした。今回はオブザーバーとして講義を見学したマヒドン大学、台湾・国立成功大学、モンゴル国立医科大学の教員にも好評で、将来は共同講義に参画したいとの希望がありました。次年度は場所を本学に移し、開催予定です。

（環境健康科学研究教育センター）



グループワークの様子



全体集合写真

医理工学院が第1回学生研究発表会／第1回企業・医療機関・行政との交流会を開催

医理工学院は、11月22日（水）に医学部学友会館フラテ2階特別会議室にて、第1回学生研究発表会／第1回企業・医療機関・行政との交流会を開催しました。

学生が日々の研究成果を発表する場を設け、医理工学院の教育活動や研究成果等を他方面に知っていただくことを趣旨とし、一般社団法人日本経済団体連合会の倫理憲章を遵守しながら、学生31名、教員26名、企業11社29名の計86名が集い開催しました。

学生には異なる系の指導教員が2名ずつ対応し、医理工学院の研究領域である医学・理学・工学の融合領域における研究発表を行うことができるよう、精到に指導しました。医理工学院の教育目的である「最先端理工学を生

かした、新たな医療技術や医療機器を開発できる研究者や技術者を育てる」「高精度放射線治療や粒子線治療を担う医学物理士を育成する」の実現に向け、新たな一歩を踏み出すことができましたと感じています。

学生は研究発表のみならず、会場運営、当日の司会進行等にも携わり、研究以外の面においても研究者・技術者として今後役立つ知識を学ぶ機会となり、医理工学院教員からは有意義であったとの意見がありました。

また、参加いただいた企業の方々からも「研究に対する学生の熱意、それを支える先生方の思いを感じ、貴重な時間を過ごすことができました」との意見を頂戴し、大きな成果を得ることができました。

この度初めて開催した本発表会／交流会ですが、来年度以降も引き続き開催し、医理工学院の教育活動の発展に寄与される機会となるよう、更なる充実を目指していきます。

（医理工学院）



学生研究会の様子

農学・食資源学特別講演会「統合的水資源管理と排水再利用」を開催

国際食資源学院、農学研究院、GI-CoRE食水土資源グローバルステーションでは11月7日（火）に、カリフォルニア大学デービス校名誉教授（本学名誉博士）の浅野 孝氏を講師として、「統合的水資源管理と排水再利用」と題して特別講演会を開催しました。

浅野氏は本学農学部卒業で、水のノーベル賞ともいわれている「ストックホルム水賞」の2001年受賞者です。浅野氏は日本学術振興会の「外国人招へい研究者（短期S）（ノーベル賞級の特段に優れた業績及び受賞歴をもち、当該分野で現在も指導的立場にあ

る海外の研究者を日本に招へいし、講演、研究指導等を行う機会を提供する制度）」として来日されたものです。

浅野氏には排水再利用の最前線についてお話ししていただきました。将来

の世界の水問題に対する関心が高いことを反映し、聴講者は200名にのぼりました。

（国際食資源学院）



講演する浅野氏



熱心に聞き入る聴衆

農学院・農学研究院・農学部で第9回Sapporo Alumni Lecturesを開催

農学院・農学研究院・農学部は、札幌農学同窓会とともに、学生を対象とした第9回Sapporo Alumni Lecturesを11月24日（金）に開催しました。本講演会は、社会で活躍している農学部卒業生を招いて学生に講話していただくもので、農学部を卒業して今日までの様々な経験、そしてそこから得た人生観を語ってもらい、学生の今後の学びや将来の目標を考える機会にしようことを目的としています。

本年はAroma Tropics（マレーシアの造園会社）共同創設者の樫野直広氏及びサントリーフラワーズ株式会社海外事業部シニアマネージャーの村上保之氏をお招きして開催しました。

横田 篤研究院長による挨拶の後、樫野氏より「マレーシアでの仕事とくらし～As long as the life goes on～」と題して講演いただきました。樫野氏は、将来国際的な舞台で活躍したいとの大志を持って本学に入学され、農学部農学科に進学するも、学生時代競技スキー部にのめり込み、当初の希望とは異なる花卉造園学講座で卒業論文に打ち込みました。これが縁で就職した造園会社から、図らずも海外勤務を命じられマレーシアの造園事業に着手され、さらにはマレーシアで新たな造園会社設立に自ら関わり、現地で結婚して永住するに至りました。この間、マ

レーシア各地の緑地計画に携わり、水辺を活かし、日本庭園のモチーフを取り込んで、新しいコンセプトの庭園設計を目指し、後に数々の国際的な受賞に輝きました。これらの経験を通して、樫野氏は「人生希望通りにいかなくても、常に大志を忘れず精進すれば道は自ずと拓かれる。北大生は、Boys, be ambitiousの教えを大切に社会で活躍して欲しい」と、就職を控える在学生にとって温かい励ましの言葉を贈られました。

続いて、村上氏より「花の力で世界を変える」と題して講演いただきました。農学部農学科の果樹蔬菜園芸学講座を卒業後、卒業生でサントリーワイナリー所長をされていた大先輩に請われサントリーに入社されました。ワイン葡萄の研究をずっと思っていたところ、花の品種改良と販売を手がける部門に配属となり、以降今日まで花卉園芸の分野でご活躍されています。育種素材となる新たな遺伝資源を求めて地球の裏側までも足を伸ばし、切り花や鉢花の品種改良に取り組み、数々の新しい品種を世に送り出してきました。出身地の仙台が東日本大震災の津波被害を受けた後、何も残っていない道路脇に赤色系の花で花壇を造成し、「花が人々の心を明るくするのだ」と実感できたことや、南アフリカで花の

野生種を探索していたところ、偶然自分が育成した品種を発見し、「こんなところでも栽培されているのか！」と感動を覚えたことなどをお話いただきました。サントリーフラワーズが販売する「青いカーネーション」と「青いバラ」の育成にまつわる話などもあり、学生だけでなく教員も興味津々でした。

講演会には、学生と教員を合わせ、大講堂を埋める100名が参加しました。学生から海外で活躍する際の心構えや、企業の研究者として働く際の視点（感性）などに関する質問などがあり、各講師は丁寧に回答されて、理解が深まりました。最後に、松井博和札幌農学同窓会理事長による閉会の挨拶で閉会しました。

今回の講演は、海外での活躍を希望する学生にとって、海外に永住してその土地で仕事に従事するケースと、日本国内の企業に勤務しつつ海外に目を向けて業務を行うケースの良い具体例として大変参考になるもので、グローバル化という視点で就職を考える良い機会となりました。ご講演いただいた樫野氏、村上氏にはここに改めて感謝申し上げます。

（農学院・農学研究院・農学部）



講演する樫野氏



講演する村上氏



会場の様子

文学研究科で特別支援室の活動に関するFD研修を開催

何らかの障害を抱える学生の修学や研究活動の支援のために、平成25年に本学の「特別修学支援室」が開設されました。文学研究科では、11月10日（金）に当該テーマに関わる初めてのFD研修を開催し、同室専任教員の伊藤康弘准教授が、「北海道大学における修学支援の取組」と題して同室の活動内容について講演しました。

統計によれば、大学や短大などの高等教育機関で学ぶ身体や発達、精神に障害を抱えた学生の把握された数は、近年飛躍的に増加しています。伊藤准教授は、このような学生に対して、平成28年に施行された国の障害者差別解

消法を背景に本学がどのようなサポート体制を組んでいるか、そのなかで特別修学支援室がどのような活動を行っているかを説明しました。当該学生の相談を受けるだけでなく、障害ゆえに授業などでトラブルがあった時の対応、単位取得のための手助け、授業担当教員との調整や保護者との連絡、必要な機器や環境の整備、当該学生を支援する学生の養成や派遣、障害の特性や支援室の活動を説明する会の開催、さらには制度変更の提言まで、その多岐にわたる活動はここに総括しがたいものです。障害を持つ学生の修学にどのような困難があるのか、どのような

支援を得られるのかを具体的に知る得難い機会となっただけでなく、彼らの入学や卒業など、支援室のみならず大学全体で考えていくべき制度的問題についても考えさせられました。

本研修には、文学研究科教員ら55名の参加がありました。支援室の活動を通じて、障がいのある学生の存在や可能性を認識し、通常の授業や研究指導のあり方を考える貴重な機会となりました。

（文学研究科・文学部）



講演する特別修学支援室専任教員の伊藤准教授



研修の様子



経済学研究院・経済学院・経済学部で外国人留学生懇親会を開催



集合写真

経済学研究院・経済学院・経済学部では、11月2日（木）に研究棟3階会議室において、平成29年度外国人留学生懇親会を開催しました。

本研究院・学院・学部では、外国人留学生が年々増加しており、特に大学院修士課程（現代経済経営専攻）においては、在籍する学生の大半を占めています。このような状況の下、留学

生、日本人学生、教職員が相互に理解と親睦を深め、交流を通して生まれた絆が留学生の生活適応や日本人学生の国際経験に資することを目的とし、本懇親会を開催しています。

10回目の開催となる今回は、司会進行とゲームの企画を日本人学生及び中国からの留学生の3名が務め、在籍する留学生や、そのチューター・サポー



親睦を深める参加者たち

ター、そして国際交流に関心のある日本人学生と関係教職員など約60名が参加しました。参加者は軽食を取りながら、歓談やゲームへの参加を通して互いに親交を深め、盛況のうちに閉会しました。

（経済学院・経済学研究院・経済学部）

経済学部で公認会計士・監査審査会会長の特別講演会を開催

経済学部・経済学院主催により、11月2日（木）に文系共同講義棟2番教室において、金融庁公認会計士・監査審査会会長の廣本敏郎氏を講師にお招きし、特別講演会を開催しました。

公認会計士・監査審査会（Certified Public Accountants and Auditing Oversight Board）は、公認会計士試験の実施等を通じた公認会計士人材の確保・育成及び監査事務所に対する審査・検査を通じて監査品質の向上と会計監査の信頼性確保を図り、会社等の公正な事業活動及び我が国資本市場の公正性・透明性の向上に貢献しています。

廣本会長は、「グローバル経済を支える会計・監査」のテーマで、市場経済における会計・監査の意義、近年における監査品質の確保・向上のための取組み、公認会計士の活躍領域の拡大等について講演されました。

公認会計士は、信頼し得る適切な情報を提供するという会計の公的な義務が認識されているかどうかを見究めるために、広い理解と鋭い正義感、そして高度の独立性を備えなければならないことを説明され、また、監査品質の更なる向上のためには、監査品質を決定する監査業務のインプット（監査基準、監査人の属性等）、アウトプット（監査報告書、監査人のコミュニケーション等）、コンテクスト（ガバナンス、法規制等）の3つそれぞれが相互に関連して重要であり、監査人だけでなく一般市民等を含む監査の利用者の間の相互作用も重要であることを熱弁されました。

当日は、経済学部及び会計専門職大学院の学生と教員を中心に約40名が参加し、盛況のうちに講演会を終了しました。

（経済学院・経済学研究院・経済学部）



公認会計士・監査審査会 廣本会長



熱心に講演を聴く学生・教員

経済学部で札幌国税局長の特別講演会を開催

経済学部では、札幌国税局長の市田浩恩氏による特別講演会を11月7日（火）に学術交流会館小講堂において開催しました。「税務行政の変遷と今日的課題」と題し、税務行政の変遷を概観するとともに、国税収入の確保、マンパワーの確保とICT化への取り組み、及び国際課税に対する対応など国税庁が現在直面している課題について講演していただきました。

市田氏は、国税庁に勤務し、広報聴取官と課税総括課長などを務められました。講演では、まず、税務行政の変遷について語られ、税収の中心となる基幹税と税収の構成が歴史的にどのように変わってきたか、さらに国税庁が今まで果たしてきた任務と使命について説明されました。次に、税務行政の今日的課題として、国税収入の確保、マンパワーの確保とICT化への取組、及び国際課税について語られました。国税収入の確保では、国の一般会計で社会保障費の増加により歳出が増加している一方で、税収が増加しておらず、現在、消費税等の安定した税収の確保が求められていることを指摘されました。また、マンパワーの確保とICT化への取組では、職員の定数が減少している中で、申告件数は著しく増加し、e-Taxなどのデジタル化やマイ

ナンバーの活用などによって税務処理の効率化が推進されていると紹介されました。国際課税では、「パナマ文書」やBEPS（多国籍企業の税制のズレを利用した国際的な課税逃れ）などに代表されるように、企業や富裕層が各国の税制や租税条約の違いを利用して国際的な租税回避行動をとっていることに対し、国税庁は税務行政に対する国民の信頼を確保するため、「国際戦略トータルプラン」を作成し、諸外国と租税条約に基づいて情報を交換し、適正な課税を行うように努めていると語られました。

講演会には110名が出席し、経済学部の学生と大学院生ばかりでなく他学部の学生や一般の方の参加もありました。当日実施したアンケートでは、参加者の多くから市田氏の講演が非常に有益であった旨の回答がありました。

我が国では、現在、国と地方の累積

債務の合計は一千兆円を超える一方、国民の一部は消費税を中心とした増税に反対しています。増税反対の理由は、国の歳出ばかりでなく、税に対する不満があります。増税は国と国民との新たな契約であり、そこには両者の間の信頼関係が必要です。税に対する国民の信頼が納税を支え、社会を支えています。税務行政において国際化を含めた新しい時代の中で、税に対する信頼を確保し、国民一人ひとりが社会を支えているという自覚をもつ必要があります。このためには私たちが税に関心をもち、税の理解を通して社会に参加し、真剣に社会の在り方を考えることが重要です。このような講演会が、学生に現実の問題に関心を抱かせ、真剣に日本の将来を考えてもらう良い機会になることを期待します。

（経済学院・経済学研究院・経済学部）



講演する札幌国税局長 市田氏



熱心に講演を聴く学生たち

経済学部特別講演会を開催

経済学部では11月22日（水）、一般財団法人人材支援機構の代表理事で経済学院の非常勤講師でもある竹川勝雄氏を講師にお招きして、「システムエンジニアリングの発想」と題して特別講演会を開催しました。

竹川氏によると、今回の講演会のねらいは「学生たちにとっては必ずしも馴染みのないエンジニアリング産業を改めて見直し、様々な企業において新たなプロジェクトの実現を可能とするような気運を高める」点にあるとのことでした。講演は、エンジニアリング産業が商品として発注者に引き渡すもの、プラントエンジニアリング産業の分類と取引形態、学問・研究と実務との関係の整理、エンジニアリング産業に不可欠な要素とバックグラウンドとなる学問、エンジニアリング産業が実現する価値などの諸点に言及しつつ進

められました。

今回の講演会は参加者が220名以上の盛会であり、学部生・大学院生・教員のみならず、一般市民の方にも多数お集まりいただきました。内容は全般的に含蓄に富むものであり、参加者の多くが熱心に聞き入っていました。

講演後の質疑応答では、「エンジニアリング会社と発注企業の関係において、仮にエンジニアリング企業の方が

優れている場合に発注企業の主導権が奪われる懸念はないのか」など、フロアから鋭い質問やコメントが寄せられ、参加者が十分に講演の内容を理解していることがうかがわれました。

経済学研究院・経済学部では今後も、折に触れてこうした特別講演会を開催していく予定です。

（経済学院・経済学研究院・経済学部）



講演する竹川氏



講演会の様子

経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センターでシンポジウムを開催

経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センター（REBN）では、11月11日（土）、学術交流会館大講堂において、シンポジウム「北海道仮想地域通貨の構想—食・エネルギーの地産地消、インバウンド観光、および相互扶助の活性化による豊かで自律的な地域社会形成をめざす—」を開催しました。

シンポジウムでは、専修大学経済学部教授・本学名誉教授の西部 忠氏、株式会社Orb最高事業責任者の深津航氏、キズナジャパン株式会社代表取締役の高崎義一氏の3氏による講演が行われました。

「北海道仮想地域通貨—自律分散的な地域経済社会を目指して—」と題する西部氏の講演は、シンポジウム全体の趣旨とともに、仮想地域通貨の実践や今後の可能性について、経済学の学問的な知見をわかりやすく説明したも

のでした。それを受ける形で、深津氏からは「藩札経済にみるコミュニティ再生と金融システム—北海道圏仮想通貨の可能性—」、高崎氏からは「Doreming社の日本製FinTechによるリアルタイム給与決済システム—仮想通貨を使った地域貢献手当の世界的展開—」という題目で、それぞれの会社の取り組みを、多くの興味深い事例を交えてお話いただきました。

シンポジウムの後半では、経済学研究院の満園 勇准教授を司会として、

講演者3氏によるパネルディスカッションが行われました。

シンポジウムには、学内外から60名ほどの参加者がありました。参加者からは、わかりやすく興味深い講演だったとの声が聞かれ、パネルディスカッションにおいてもフロアの参加者からの質問を受けて活発な議論が交わされました。

（経済学院・経済学研究院・経済学部）



講演の様子



パネルディスカッションの様子

工学系部局で安全衛生管理講演会を開催

工学研究院、情報科学研究科、量子集積エレクトロニクス研究センターでは、「工学部安全の日^{*}」関連行事として、毎年学外から講師を招いて、安全衛生管理に係るテーマで講演会を開催しています。本年度は、11月9日（木）に工学部B11講義室において開催しました。

北海道エア・ウォーター株式会社保安技術部保安グループの土田啓介課長を講師に迎え、低温液化ガスの使用について、身につけておくべき知識や、研究・実験時における事故防止、過去の事例等について紹介がありました。

本講演会には、87名の教職員及び学生が参加し、参加者からは有益であった旨の感想が多く聞かれ、今後の安全教育の充実化に繋がる有意義な講演会となりました。

^{*}工学部安全の日

平成4年8月10日に工学部で発生した重大事故に鑑み、本学部における安全管理・安全教育体制の整備と安全意識の向上に資するために、制定された日。

(工学院・工学研究院・工学部、情報科学研究科、量子集積エレクトロニクス研究センター)



講演する土田課長



講演会の様子

歯学研究院で「動物供養祭」を挙行

歯学研究院では、11月27日（月）に学部会議室において、動物供養祭を執り行いました。供養祭は、過去1年間に歯学教育・研究のため実験に供された動物（ラット、マウス計1,245体）への感謝と追悼のために毎年実施しており、教職員、学生等の動物実験関係者約20人が参列しました。

供養祭では、最初に横山敦郎歯学研究院長から挨拶があり、次いで動物実験委員会委員長の船橋 誠教授から、歯学研究の進歩に尊い命を捧げてくださった多数の実験動物の御霊の安らかなることを願う旨の「祭文^{さいもん}」が捧げられ、最後に参列者全員により献花が行われました。

(歯学院・歯学研究院・歯学部)



参列者に挨拶する横山研究院長



「祭文」を読み上げる船橋委員長



献花する参列者



祭壇

薬学研究院・薬学部で「実験動物慰霊祭」を挙

薬学研究院・薬学部では、11月10日（金）に本研究院並びに本学部の教育と研究のために供された実験動物の慰霊祭を臨床薬学講義室にて執り行い、教員、学生など約100名の関係者が参列しました。

慰霊祭では、動物実験委員会委員長の木原章雄教授より実験に供された動物に追悼の辞が述べられ、次いで参列者全員による黙祷及び献花が行われました。

生命科学及び薬学の教育や研究の発

展のために多大な貢献をした動物への諸霊の供養がしめやかに執り行われました。

（薬学研究院・薬学部）



追悼の辞を述べる木原委員長



献花する参列者

薬学研究院・薬学部で消防訓練を実施

薬学研究院・薬学部では、11月6日（月）、総合研究棟2階学生実習室からの出火を想定した消防訓練を実施しました。当日は通報連絡班、避難誘導班、消火班、応急救護班に加え、教員も避難誘導に加わり、木原章雄薬学研究院副研究院長を隊長とする自衛消防本部を組織しての訓練が行われました。

今回も所属する教職員及び学生が参加する訓練を実施し、自衛消防本部との連携により、すべての参加者が昨年よりも速やかに避難を完了するなど、訓練参加者の防災意識の高さが確認できました。

その後、木原副研究院長から教職員及び学生の防災意識を啓蒙する挨拶があり、全体での消防訓練は終了しまし

た。

消防訓練終了後は、防災設備業者の指導の下、消火器を使用した消火訓練並びに布担架による救助訓練が行われました。

（薬学研究院・薬学部）



初期消火活動の様子



布担架の使用訓練

北海道大学病院で指導医ワークショップを開催

<医科>

北海道大学病院臨床研修センターでは、10月21日（土）、28日（土）、第14回北海道大学病院指導医のための教育ワークショップ（指導医講習会）を開催し、道内の臨床研修施設から指導医42名の参加がありました。

新医師臨床研修制度が導入された平成16年度以降、研修医を指導する医師の役割はますます重要になっており、本院では毎年、北海道内の教育病院における指導医の資質向上と、適切な指

導体制の確立を目的として、このワークショップを開催しています。

本ワークショップは10のトピックスに焦点を当てたセッションに分かれており、各セッションでは「研修医のメンタルヘルス」「効果的なカンファレンス運営」等をテーマとした講義の後、グループ討論・ロールプレイ・全体発表等を通して、参加者同士が互いに学び合い考えを深めました。

全日程終了後、石森直樹副センター

長より、参加者代表の新井隆太医師（本院整形外科）へ修了証が手渡されました。

計16時間にわたる濃厚な講習会を修了した参加者からは「普段意識していなかった指導方法・評価について見つめ直す機会となった」「従来考えていた指導・教育のイメージとは異なる考え方や手法の必要性がわかり学ぶことができた」等の感想が寄せられ、実りある講習会となりました。



真剣にグループワークを行う参加者



参加者全員での集合写真

<歯科>

11月18日（土）・19日（日）に、第8回指導歯科医講習会を開催しました。本講習会は研修医の指導にあたる中堅・ベテラン層の歯科医師の指導的資質向上を目的として企画され、計29名の指導歯科医師が出席しました。

小グループ単位でのワークショップがメインに行われ、研修医の評価や指

導方法などをテーマに活発な議論がなされました。特に指導方法の議論では、実際に良い指導医と悪い指導医及び研修医になりきって迫真のロールプレイングを行い、盛り上がりを見せていました。

全プログラムの修了後には、井上哲歯科卒後臨床研修部門長より、出席

者全員へ修了証書の授与が行われました。2日間計16時間というハードな日程での開催でしたが、参加者からは「明日から臨床教育の場でこの経験を活かしていきたい」等の意見が寄せられ、有意義な講習会となりました。



真剣な様子の出席者



修了証書の授与

（北海道大学病院）

北海道大学病院で平成29年度地域連携懇話会を開催

北海道大学病院は、11月10日（金）、TKP札幌駅カンファレンスセンターにおいて、平成29年度北海道大学病院地域連携懇話会を開催しました。本懇話会では、療養型施設、急性期病院、在宅医療など、地域包括ケアにおいてそれぞれの役割を担う施設の医療従事者や、地域医療構想から見た慢性期医療について知見のある地域医療計画の研究者にご登壇いただきました。

第1部は「急性期病院と他の医療機能病棟との連携を考える」と題し、①「回復期リハビリテーション病棟の立場から」として小川太郎氏（札幌溪仁会リハビリテーション病院医師）、②「地域包括ケア病棟の立場から」として高橋大賀氏（札幌ひばりが丘病院長）、③「慢性期病棟の立場から」として西村晋弥氏（北海道内科リウマチ科病院医療福祉課長）からそれぞれ講演をいただいた後、引き続き第2部として、藤森研司氏（東北大学医学系研究科公共健康医学講座教授）から、「地域医療構想から見た慢性期～在宅医療について」と題し基調講演をいただきました。

講演終了後は第3部として、寶金清博病院長から地域包括ケアにおける大学病院の役割等について話題提供があった後、各演者、渥美達也地域医療連携福祉センター長、及び樋田泰浩同副センター長を加えたパネルディスカッションを行い、地域包括ケアや医療人材育成のあり方等について議論が

展開されました。

当日は103名（学外70名・学内33名）の参加者があり、講演後の質疑応答、そしてその後の懇親会まで、盛況のうちに本懇話会を終了しました。

（北海道大学病院）



挨拶する寶金病院長



藤森教授による基調講演



懇話会の風景



パネルディスカッション

北海道大学病院で総合防災訓練を実施

北海道大学病院では、11月13日（月）、地震の発生及びこれに伴う病棟4階給湯室からの出火という想定で、総合防災訓練を実施しました。

今回の訓練は地震発生の放送で始まり、迅速な自衛消防組織本部及び地区隊の編成の訓練を行いました。

火災発生のアナウンスがされると、出火病棟の地区隊が初期消火や避難誘導にあたり、また自衛消防隊各班も、救護所の設置や消火の応援、危険物の管理、重要物品の搬出など、各々の役割に基づいて行動しました。

訓練終了後には、北消防署の担当官

より「まずは自分の安全を確保した上で、患者等の避難、治療等を行えるように今回の訓練を生かしてほしい」との講評がありました。

（北海道大学病院）



消火栓による初期消火



模擬患者の搬送

北極域研究センターで北極域課題解決人材育成講座 「北極域科学概論」を開催

11月20日（月）～22日（水）の3日間、第1回北極域課題解決人材育成講座「北極域科学概論～北極域を学んであなたのキャリアアップにつなげませんか？～」を開催しました。本講座は北極域研究共同推進拠点^{*}が主催し、その事業の一貫として実施するもので、環境変動が進行する北極域の温暖化やそれに伴う異常気象が生態系と人々の暮らしや社会に及ぼす影響、資源開発や北極海航路利用について世界的な北極域における経済活動やガバナンスへの関心の高まりを受け、第一線で活躍する自然科学から人文・社会科学までの研究者を講師陣に招き、講義が行われました。

講義は札幌会場（本学）及び東京会場（本学東京オフィス）の両会場をテ

レビ会議システムで中継し、大学院生、研究者、行政・企業の実務担当者など32名が受講しました。双方の会場から相互に活発な質疑応答がなされ、また交流会では受講者相互の情報交換も活況の中終了しました。

第2回以降も北極域に関する幅広い知識や情報の習得と、学生から社会人まで異分野から集う参加者同士の交流

が行われることを期待しています。

^{*}北極域研究共同推進拠点

北極域研究センター、国立極地研究所国際北極環境研究センター、海洋研究開発機構北極環境変動総合研究センターの3機関による連携ネットワーク型の共同利用・共同研究拠点。

（北極域研究センター）



札幌会場の様子



東京会場の様子

第15回脳科学研究教育センターシンポジウム「脳を知る」を開催



講演者と関係者集合写真

10月25日（水）に、第15回脳科学研究教育センターシンポジウム「脳を知る」（世話人代表：薬学研究院教授南 雅文副センター長）を医学部学生会館フラテホールで開催しました。脳科学研究教育センターには医学、薬学、理学、工学、保健科学、文学、教育学など学内12部局の約30名が基幹教員として参加しており、脳科学研究の推進と、大学院講義、実習、合宿研修などを柱とした教育活動を行っています。また、毎年、学内外の脳科学研究者が参加するシンポジウムを開催しています。今回のシンポジウムは、先端的な研究手法により脳機能研究を進める第一線の研究者3名を招聘し、本学の若手教員1名を加え、計4名の研究者が講演を行いました。

南副センター長による挨拶とシンポジウム趣旨説明の後、講演が開始されました。今野幸太郎助教（医学研究院解剖発生学教室）による講演「境界条床核における神経回路形成－グルタミン酸受容体GluD1の関与」では、デルタ型グルタミン酸受容体が、補体ファミリーに属するCblnとの結合を介してシナプスの形成と維持に関与していることが紹介され、拡張扁桃体におけるこれら分子の機能についての研究成果が示されました。檜山武史助教（基礎生物学研究所統合神経生物学研究部門）による講演「体液の情報に基づいて口渇感や塩欲求が生じる神経機構」では、体液中の Na^+ レベルの変動が脳弓下器官のグリア細胞に発現する Na^+ チャンネル Na_x によって感知され、境界条床核に投射するニューロンが塩

欲求の制御に関与すること、また、脳弓下器官から終板脈管器官に投射するニューロンが口渇感に関与することが報告されました。櫻井 武教授（筑波大学医学医療系・国際統合睡眠医科学研究機構）による講演「覚醒状態の安定化および情動に応じた行動の変容におけるオレキシンの役割」では、覚醒維持に関わる神経ペプチドであるオレキシンの産生ニューロンの投射経路やオレキシンニューロンへの入力経路の詳細が示され、覚醒レベルと情動変化に関わる脳内メカニズムが紹介されました。池谷裕二教授（東京大学大学院薬学系研究科薬品作用学教室）による講演「長期抑圧はなぜ生じるのか：脳微小回路から眺めた記憶と睡眠」では、シナプスレベルでの記憶の素子である海馬長期増強（long-term

potentiation, LTP）が飽和した際に、LTPを消去する自発的なプロセスとして海馬神経回路に長期抑圧（long-term depression, LTD）が引き起こされるとする研究成果が紹介され、睡眠との関連が議論されました。最後に、渡辺雅彦センター長（医学研究院）の挨拶があり、活況のうちに閉会となりました。

学内の各部局や学外の研究者・学生等65名の参加があり、活発な質疑応答が行われました。今回のシンポジウムが参加者の皆様の興味を満たすとともに、学内外の研究の新しい展開につながっていくことを願っています。

（脳科学研究教育センター）



講演する今野先生



講演する檜山先生



講演する櫻井先生



講演する池谷先生

保健センターで第6回健康キャンパス北大「予期せぬ危険から身を守ろう」を開催

保健センターでは、9月20日（水）に保健センターラウンジにおいて、第6回健康キャンパス北大「予期せぬ危険から身を守ろう」を開催し、9名の教職員・学生の参加がありました。平成27年にも同様のテーマで開催し、今回は2回目です。

最初に、「こわい交通事故！交通安全について」のDVDを上映しました。このDVDでは、特に自転車による交通事故の事例を中心に、自転車に関わる交通ルールについての詳しい解説がありました。自転車に乗る際の基本的なマナーから始まり、交通ルールを守らず、重大な事故を起こし、取り返しのつかないことになる事例なども紹介され、多くの知識を学びました。その後、札幌方面北警察署の方から、DVDの内容を踏まえ、さらに詳しい説明を受けました。日頃から、自転車の通行が激しい本学構内での自転車のマナー向上に必要な大変重要なお話を

伺いました。参加者からは、「自転車は車両なので交通ルールを守ります」「自転車を乗る時に注意します。携帯は使いません」など、安全宣言の声が寄せられました。

その後、「身を守る“護身術”を学ぼう！」と題して北警察署の方から実技と講演が行われました。講演では、不審者発生状況などの情報を普段から収集しておくこと、夜間の一人歩きを避けること、明るく人通りの多い道を歩くこと、不審者は後ろから近づいてくることが多いので、イヤホンで音楽を聞きながら、スマートフォンを操作しながらの歩行は避けること、防犯グッズを携帯する、不審者に遭遇した場合は大声で助けを呼ぶこと、などのお話がありました。また、110番通報による情報は、街の治安を守る方法として犯罪防止に有効なので、通報に積極的に協力してほしいとのことでした。次に、実技で、不審者から身を守

る方法など、身をもって実践的な安全対策を学びました。実技は、3～4種の護身術を行いました。参加者は、かなり熱を入れて実技を行っていました。護身術は、時間稼ぎをして助けを呼ぶ機会を作るという意味もあることや、その必要性についての説明も受けました。実技後も、多数の質問がなされ、終了予定時間をかなり超過してしまうほど、質疑も活発に行われました。アンケートでは、「護身術はとてよかった、ためになった」「実際に近隣でどのような事件が起きているのかを知り、危機意識が高まりました」「会場を各部局で実施するといいかもしれない」など多くの声が寄せられ、ほぼ全員の参加者から、定期的に開催してほしいという希望がありました。本センターでは、今後も継続して本講習を企画・実施していく予定です。

（保健センター）



熱心に話を聞く参加者



実技の様子



物質科学リーディングプログラムが第5回国際シンポジウムを開催



集合写真

物質科学フロンティアを開拓する Ambitiousリーダー育成プログラム (ALP)*は、11月21日(火)・22日(水)に、The 5th International Symposium on AMBITIOUS LEADER'S PROGRAM Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science (物質科学リーディングプログラム第5回国際シンポジウム)を開催しました。本シンポジウムは、プログラム生が物質科学の様々な分野における最先端の研究成果に触れるとともに、「国際的実践力」を養成することを目的として毎年開催しており、企画と運営は学生が主体となって行いました。

初日はフロンティア応用科学研究棟 レクチャーホール(鈴木章ホール)にてスタートしました。長谷川靖哉国際連携委員長による冒頭挨拶及び石森浩一郎プログラムコーディネーターによる本プログラムの概要説明に続き、海外からShie-Ming Peng教授(国立台湾大学)、Gwénaél Rapenne教授(フランス・トゥールーズⅢ-ポール・サバティエ大学)、Achim Walter Hassel

教授(オーストリア・ヨハネス・ケプラー大学)が、本学からは正宗 淳教授(理学研究院)、大熊 毅教授(工学研究院)、前田 理教授(理学研究院)が最先端の研究についての講演を行いました。本シンポジウムの例年の特筆すべき特長の一つとして、質疑応答の時間にプログラム生からの質問が非常に多く出されるという点が挙げられます。今年も次々と質問が出され、講演者との専門的かつ有意義なディスカッションが数多く繰り広げられました。

講演に続き、ポスターセッションにエントリーした学生によるショートトークが行われ、プログラム生16名、本学の留学生5名と海外から参加した4名(うち1名は助教)による研究発表が1人2分間の持ち時間で行われました。今年度10月に採用されたばかりのプログラム生の多くにとっては初めて英語でプレゼンテーションを行う機会となりましたが、「緊張したがよい経験となった」といったポジティブな感想を聞くことができました。夕方か

らは定山溪に移動し、夕食後にはポスターセッションが行われました。ここでも議論は活発に行われ、一部の学生はセッション終了後も夜遅くまで討論と交流を引き続き行っていました。

翌日の午前中には学生による3時間にわたるワークショップが開催され、「Design a better laboratory (より良い研究室をデザインする)」というテーマのもとにグループディスカッションと提言の発表会を行いました。このテーマは国を問わず多くの学生にとって非常に身近な問題であったこともあり、本音で踏み込んだ提言が多く出されました。このような企画はプログラム生が英語で他国の学生とまとまった時間ディスカッションできる良い機会であり、当プログラムのキーワードの一つである「国際的実践力」を向上するための一助となったと期待しています。

*ALPは、文部科学省博士課程教育リーディングプログラム事業の支援を受けて平成25年度よりスタートした5年一貫の大学院教育プログラム。産業界や学術・研究機関など、様々な領域で幅広く活躍可能なグローバルリーダーを養成することを目的としている。そのために、「圧倒的専門力」「俯瞰力」「フロンティア開拓力」「国際的実践力」「内省的知力」と名付けた5つの力を獲得することを目標としたカリキュラムと、充実した経済支援をプログラム生に提供している。

(総合化学院)



Hassel教授による講演



ポスターセッションの様子



ワークショップの様子

■ 諸会議の開催状況

役員会（平成29年11月8日）

協議事項・国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST）との連携協力協定について

報告事項・平成29年度資金の運用状況について（上半期）

- ・超過勤務実績等について
 - ・財務レポート2017について
-

教育研究評議会（平成29年11月15日）

議 題・北海道大学創基150周年記念事業の実施体制について

- ・全学運用教員（総長措置）の措置決定方法の見直しについて
- ・国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST）との連携協力協定について

報告事項・平成29年度産学官連携活動における利益相反マネジメントの実施について

- ・学生の逮捕について
-

役員会（平成29年11月27日）

議 案・北海道大学創基150周年記念事業の実施体制について

- ・全学運用教員（総長措置）の措置決定方法の見直しについて
- ・国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（QST）との連携協力協定について
- ・中国における海外オフィス及びフィリピンリエゾンオフィスの開設について

報告事項・平成29年度中間決算について

※規程の制定、改廃については、「学内規程」欄に掲載しています。

■ 学内規程

北海道大学NITOBEd教育システム運用会議規程

（平成29年12月1日海大達第216号）

北海道大学新渡戸カレッジ規程の一部を改正する規程

（平成29年12月1日海大達第217号）

北海道大学新渡戸スクール規程の一部を改正する規程

（平成29年12月1日海大達第218号）

本年12月1日付けで、新渡戸カレッジ運営会議及び新渡戸スクール運営会議を統合し、本学にNITOBEd教育システム運営会議を設置することに伴い、当該運営会議の組織及び運営について、所要の定め及び改正を行うとともに、併せて規定の整備を行ったものです。

国立大学法人北海道大学全学運用教員規程の一部を改正する規程

（平成29年12月1日海大達第219号）

新たに全学運用教員諮問委員会を設置することに伴い、所要の改正を行ったものです。

■ 研修

研修名：平成29年度北海道大学教務事務実務研修

開催期間：平成29年11月9日・10日

開催場所：高等教育推進機構大会議室

研修目的：大学の教務事務は複雑多岐にわたることから、担当職員に教務事務の円滑な処理に必要な知識及び教務系職員の基礎知識を習得させるとともに、教務事務について協議・意見交換を行うことにより、教務事務に携わる職員の意識及び資質の向上を図ることを目的とする。



開講式で挨拶する徳久治彦理事・事務局長



講義の様子

(学務部学務企画課・教育推進課)

■ 表敬訪問

海外

年月日	来訪者	来訪目的
29.11.28	在中イラン大使館 Yousef Hojjat サイエンスカウンセラー	両国の交流に関する懇談



在中イラン大使館
Yousef Hojjat サイエンスカウンセラー (左側)

(国際部国際連携課)

人事

平成29年11月16日付発令

新職名（発令事項）	氏名	旧職名（現職名）
【教授】 大学院地球環境科学研究院教授 大学院医学研究院教授 大学院医学研究院教授	野呂 真一郎 小林 弘一 本間 明宏	電子科学研究所附属グリーンナノテクノロジー研究センター准教授 採用 大学院医学研究院准教授

新任教授紹介

平成29年11月16日付



地球環境科学研究院教授に

のろ しんいちろう
野呂 真一郎 氏

統合環境科学部門
環境適応科学分野

生年月日

昭和50年7月11日

最終学歴

京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了(平成15年3月)
博士(工学)(京都大学)

専門分野

錯体化学, 多孔性材料化学



医学研究院教授に

こばやし こういち
小林 弘一 氏

病理系部門微生物学免疫学分野
免疫学教室

生年月日

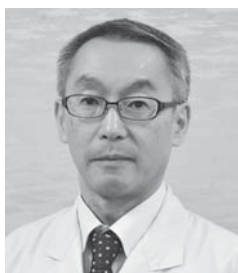
昭和41年

最終学歴

千葉大学大学院医学研究科博士課程修了(平成10年3月)
博士(医学)(千葉大学)

専門分野

免疫学



医学研究院教授に

ほんま あきひろ
本間 明宏 氏

専門医学系部門感覚器病学分野
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

生年月日

昭和40年2月27日

最終学歴

北海道大学医学部卒業(平成元年3月)
博士(医学)(北海道大学)(平成11年12月)

専門分野

頭頸部外科学, 超選択的動注化学療法

訃報

名誉教授 ^{たかはし}高橋 ^{くにひで}邦秀 氏
(享年75歳)



名誉教授の高橋邦秀氏は平成29年11月9日逝去されました。

高橋先生は昭和18年3月に埼玉県でお生まれになり、北海道大学農学部林学科を同42年にご卒業後、同大学院農学研究科博士課程を経て、林野庁林業試験場北海道支場へ研究員として勤務されました。その後、改組後の林野庁

森林総合研究所企画室長、同北海道支所の育林部長、同九州支所長を歴任され、平成8年に農学部造林学7代目教授として本学へ着任されました。初期は拡大造林に関わる研究に従事され、苗木の移植など水分生理学を基礎にした数多くの成果を挙げられました。その後、十勝地方で発生した冬季乾燥害の原因を実験的に解明されました。特筆すべきはトドマツ水喰い材の発生原因について軟X線を用いて特定され、その成果は昭和62年度の農林水産省「最近技術開発」に選ばれました。

また、ソビエト連邦の崩壊と同時にロシアとの共同研究に着手され、本学では低温科学研究所や工学部などと共同で、シベリア永久凍土地帯での山火事と森林再生の研究に取り組まれ、本

学北極域研究センター開設につながるロシア研究の路を拓かれました(写真はロシアでの調査中のもの)。一方はインドネシア、韓国での森林再生や生物多様性保全の研究等、幅広く海外研究にも取り組まれました。平成18年に名誉教授になられてからは、専門学校や北星学園大学の講師をされ、また、社団法人北方林業会会長に就任され、続いて「エゾマツ研究会」を立ち上げられました。このように国内外で研究を展開される中で数多くの学生の指導にあたられ、その功績は誠に顕著です。

ここに先生の御指導に感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(農学院・農学研究院・農学部)

資料

平成29年度外国人留学生数（「留学」以外の在留資格の者を含む）

【部局別】

学部等

平成29年11月1日現在

部 局 名	国 費		外国政府派遣		私 費		合 計
	学士課程	研究生等	学士課程	研究生等	学士課程	研究生等	
文 学 部		2(2)				128(99)	130(101)
教 育 学 部	1(1)				2(2)	24(18)	27(21)
法 学 部					1	15(9)	16(9)
経 済 学 部	1(1)	3(2)				53(39)	57(42)
理 学 部			1		1	11(6)	13(6)
医 学 部	1				2(1)	2(1)	5(2)
歯 学 部							0(0)
薬 学 部	1				1	1(1)	3(1)
工 学 部	24(2)		9(4)	4	13(3)	31(6)	81(15)
農 学 部	2(1)				3(1)	6(4)	11(6)
獣 医 学 部						15(13)	15(13)
水 産 学 部					1(1)	12(7)	13(8)
現代日本学プログラム課程					25(20)		25(20)
高等教育推進機構総合教育部	8		3(1)		35(20)		46(21)
合 計	38(5)	5(4)	13(5)	4(0)	84(48)	298(203)	442(265)

大学院等

部 局 名	国 費				外国政府派遣				私 費				合 計
	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	修士課程	専門職学位課程	博士課程	研究生等	
文 学 研 究 科	2(1)		12(3)	5(3)				3	64(44)		41(25)	20(12)	147(88)
法 学 研 究 科	1(1)						1	1(1)	23(16)		11(3)	32(17)	69(38)
経 済 学 研 究 科	1								35(23)	1	4(2)		41(25)
経 済 学 研 究 院	2(1)		3(1)						25(19)	4(2)	5(3)	3(3)	42(29)
医 学 研 究 科			5(2)	1								2(2)	3(2)
医 学 研 究 院	1(1)						3(1)		3(2)		12(8)		23(13)
歯 学 研 究 院											3	7(3)	1(1)
歯 学 研 究 院			1(1)									2(1)	3(2)
歯 学 研 究 院												2(1)	2(1)
歯 学 研 究 院												3(2)	3(2)
歯 学 研 究 院												7(2)	8(3)
歯 学 研 究 院												2(1)	2(1)
歯 学 研 究 院												3(2)	3(2)
獣 医 学 研 究 院			19(11)									19(13)	38(24)
獣 医 学 研 究 院			5(1)									3(2)	8(3)
獣 医 学 研 究 院				1								7(3)	8(3)
情 報 科 学 研 究 科	1		6(2)	2			4(1)		37(7)		32(12)	21(3)	103(25)
水 産 科 学 研 究 院	1		4(1)				2(2)		9(5)		14(7)	6(1)	36(16)
水 産 科 学 研 究 院				1								1	2(0)
環 境 科 学 研 究 院	14(7)		18(6)				3(2)	1	66(39)		42(19)	1(1)	145(74)
地 球 環 境 科 学 研 究 院				1(1)								25(14)	26(15)
理 学 研 究 院	3		12(2)				1		20(9)		34(8)	1	71(19)
理 学 研 究 院				2(1)								10(4)	12(5)
農 学 研 究 院	18(11)		30(13)				2(1)		26(18)		42(14)	1(1)	119(58)
農 学 研 究 院												20(8)	20(8)
生 命 科 学 研 究 院	4		34(11)				2		21(7)		21(7)	2(1)	84(26)
先 端 生 命 科 学 研 究 院												2	2(0)
教 育 学 研 究 院			5(5)						39(32)		10(7)	3(3)	57(47)
教 育 学 研 究 院												2(1)	3(2)
国 際 広 報 メ デ ィ ア ・ 観 光 学 院			3(3)				1		63(52)		17(10)	5(4)	89(69)
メ デ ィ ア ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 院				2(2)				1				30(26)	33(28)
保 健 科 学 研 究 院			1(1)						8(6)		4(2)	1(1)	14(10)
保 健 科 学 研 究 院				1(1)								10(8)	11(9)
工 学 研 究 院	39(13)		36(8)				15(2)		67(18)		48(12)	14(6)	219(59)
工 学 研 究 院				2								42(13)	46(13)
工 学 研 究 院	3		12(8)				5(2)		19(7)		31(13)		70(30)
医 理 工 学 研 究 院												3(1)	3(1)
国 際 感 染 症 学 院			5(3)									2(1)	7(4)
国 際 食 資 源 学 院									3(2)				3(2)
公 共 政 策 学 教 育 部										17(12)			17(12)
公 共 政 策 学 連 携 研 究 部												14(11)	14(11)
低 温 科 学 研 究 所												2	2(0)
電 子 科 学 研 究 所												2(1)	2(1)
遺 伝 子 病 制 御 研 究 所				2(2)								3(1)	5(3)
触 媒 科 学 研 究 所								2(1)				6	8(1)
ス ラ プ ・ ユ ー ラ シ ア 研 究 セ ン タ ー				2(1)								1(1)	3(2)
情 報 基 盤 セ ン タ ー												2(1)	2(1)
北 方 生 物 圏 フ ィ ー ル ド 科 学 セ ン タ ー				1								2	3(0)
観 光 学 高 等 研 究 セ ン タ ー				2(2)									2(2)
人 獣 共 通 感 染 症 リ サ ー チ セ ン タ ー												4(1)	4(1)
国 際 連 携 機 構													0(0)
高 等 教 育 推 進 機 構												4(2)	4(2)
合 計	90(35)	0(0)	211(82)	25(13)	0(0)	0(0)	39(11)	11(3)	531(306)	22(14)	411(175)	308(155)	1648(794)

日本語研修生等

国 際 連 携 機 構	日 本 語 ・ 日 本 文 化 研 修 生			日 本 語 研 修 生		合 計
	国 費	外国政府派遣	私 費	国 費	私 費	
	24(17)	0	29(18)	10(2)	19(12)	82(49)

外国人留学生及び外国人学生総数

学部留学生	大 学 院 留 学 生			研 究 生 等	日 本 語 研 修 生 日本語・日本文化研修生	留 学 生 総 数	外 国 人 学 生 （「留学」以外）	留 学 生 及 び 外 国 人 学 生 総 計
	修士課程	専門職学位課程	博士課程					
135(58)	621(341)	22(14)	661(268)	651(378)	82(49)	2,172(1,108)	36(18)	2,208(1,126)

* () 内は女子を内数で示す

* 修士課程には博士前期課程を、博士課程には博士後期課程を含む

* 研究生等には特別研究生及び特別聴講学生を含む

(国際部国際教務課)

北大時報掲載記事事項別一覧（平成29年掲載分）

表紙

- 1月号 ・小中学生向け科学体験イベント「さっぽろサイエンスフェスタ2016 in 北大」
- 2月号 ・小学生と外国人留学生の歩くスキー実習
- 3月号 ・一般入試前期日程の合格発表（2017.3.8）
- 4月号 ・平成29年度入学式
- 5月号 ・平成29年度春季外国人留学生ウェルカムパーティー
- 6月号 ・植物園の夏期開園とオリジナルグッズの販売
- 7月号 ・6 研究所・センター合同一般公開
- 8月号 ・国際食資源学院「ワンダーフォーゲル実習Ⅰ」
- 9月号 ・平成29年度オープンキャンパス
- 10月号 ・北海道大学ホームカミングデー2017「歓迎式典・記念講演会」
- 11月号 ・北方生物圏フィールド科学センター「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」
- 12月号 ・2017年新渡戸スクールメンターフォーラム

裏表紙

- 1月号 ・北の鉄道風景（46）流れ山
- 2月号 ・北の鉄道風景（47）釧路湿原
- 3月号 ・北の鉄道風景（48）JR最後の急行列車「はまなす」
- 4月号 ・北の鉄道風景（49）早春の根室本線を往く
- 5月号 ・北の鉄道風景（50）新緑の山峡を駆ける
- 6月号 ・北の鉄道風景（51）夕日を浴びて
- 7月号 ・北の鉄道風景（52）ルピナス咲く頃
- 8月号 ・北の鉄道風景（53）夏祭りの夜に
- 9月号 ・北の鉄道風景（54）噴火湾秋景
- 10月号 ・北の鉄道風景（55）タマネギ列車
- 11月号 ・北の鉄道風景（56）惜別の夜
- 12月号 ・北の鉄道風景（57）大雪の中を

総長告辞等

- 1月号 ・年頭の挨拶
- 4月号 ・就任挨拶～独立心と自律心を持った豊かな北海道大学を創る 第19代総長 名和 豊春
・役員新体制紹介
・告示（学士学位記授与式、入学式）

役員便り

- 2月号 ・情報セキュリティの向上に向けて
- 3月号 ・男女共同参画の取組について

全学ニュース

- 1月号 ・大学入試センター試験の実施
- ・サステナビリティ・ウィーク2016の開催
- サステナビリティ・ウィーク2016を振り返って
- ・国際機関情報の探し方セミナー「SDGs（持続可能な開発目標）の現在地－統計で知る」
- ・国際シンポジウム「環境と健康領域における持続可能な開発目標（SDGs）」
- ・講演会「超高齢社会を迎えて－感性工学の果たす役割－」
- ・セミナー「変貌する北極域とアジア～北極海航路とアジア：欧州とアジアの研究者による学際的研究の動向～」
- ・北大×JICA連携企画 青年海外協力隊トークイベント「持続可能な社会をつくる日本のボランティア」
- ・第10回応用倫理国際会議－応用倫理学の過去・現在・未来－
- ・北大・地球研合同地球環境セミナー「篤農家」から地域社会と環境の未来を学ぶ
- ・法・図共同ワークショップ「世界のルールの作り方・使い方－人権に関する国連諸機関の仕組みと情報の調べ方－」
- ・サステナビリティ・ウィーク10周年記念国際シンポジウム～SDGsへ貢献する高等教育のあり方～
- ・総合博物館ツアー「持続可能な開発を『クール』に考えよう！－北極域展示室を通して－」
- ・市民セミナー&図書館ツアー「聞いて見て知る！国連の活動と北大図書館」
- ・第10回HESDフォーラム in 北海道
- ・北欧とバルトの国々に学ぶサステナブルな高等教育の在り方
- ・学生ワークショップ「大学生の挑戦！世界の目標を自分とつなげる」
- ・対談「SDGsへ貢献する高等教育のあり方について」
- ・学生ワークショップ「学生目線で考えよう！よりよい世界の未来を担う高等教育どうあるべき？」

- ・講演会「コンフリクトを超える知を生み出す学び－分断社会における和解の可能性－」
 - ・講演会「文化遺産とSDGs－失われた好機？－」
 - ・第2回北大－理研－産総研「触媒研究」合同シンポジウム－持続可能社会実現に向けたキャタリストインフォマテイクス－
 - ・「サステイナブルキャンパス国際シンポジウム2016－サステイナビリティの概念を取り込んだキャンパスマスタープランとは－」
 - ・保健科学研究院公開講座「ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ」
 - ・国際シンポジウム「東アジアにおける大学と先住民との協業のあり方を探る－先住民文化遺産と考古学：台湾原住民とアイヌ－」
 - ・シンポジウム「高齢化するインフラにどう対応するか－インフラ維持管理・更新・マネジメント技術の社会実装－」
 - ・留学希望者向けセミナー「SD on Campus」
 - ・歯学研究科企画第8弾 お口の健康と歯科医療 その2－患者サイドに立った知識の浸透－
 - ・公開イベント「グリーンランドをめぐる『音楽』・『冒険』・『サイエンス』－北極域の持続可能な未来にむけて－」
 - ・JICA PARTNER 国際協力人材セミナー in 北海道－国際協力の場で働きたい方、専門性を活かしたい方へ－
 - ・第31回 ポテト杯争奪全日本学生英語弁論大会
 - ・CLARK THEATER（クラークシアター）2016
 - ・GiFT2016－Global Issues Forum for Tomorrow－世界の課題解決に向けたフォーラム
 - ・HULT PRIZE@Hokkaido University
 - ・一般公開フォーラム「シティズンシップと市民運動：LGBTをとりまく日本の事情」
 - ・第19回北海道大学・ソウル大学校ジョイントシンポジウムを開催
 - ・分科会1：2016 International Workshop on New Frontiers in Convergence Science and Technology
 - ・分科会2：2016 HU-SNU-NTNU-KU Joint Symposium for Science Education－New Horizon of Science Education in the 4th Industrial Revolution Era
 - ・分科会3：New Frontiers of Chemical and Pharmaceutical Sciences
 - ・分科会4：Re-imagining East Asia in Tourism
 - ・分科会5：The 5th HU-SNU Joint Symposium on Materials Science and Engineering
 - ・分科会6：The 12th Joint Symposium on Mechanical and Aerospace Engineering
 - ・分科会7：Toward Understanding of Changing Environment
 - ・分科会8：The 12th HU and SNU Joint Symposium on Mathematics - Mathematical Analysis and Applications/ Algebraic Geometry and Topology -
 - ・分科会9：Otherness in Russian and Eurasian Contexts
 - ・分科会10：The Exploration for Change and Innovation of Teaching and Learning in Higher Education
 - ・分科会11：4th HUH-SNUH-SHH Joint Symposium
 - ・分科会12：Advanced Veterinary Sciences: From Bench to Clinic
 - ・分科会13：Local Governance and Public Policy in the Globalized World
 - ・分科会14：2016 Hokkaido University - Seoul National University Joint Symposium in Ophthalmology
 - ・分科会15：SNU-HU Joint Course: Environmental Chemicals and Human Health
 - ・分科会16：Joint Symposium on Hydro-environment Engineering
 - ・分科会17：Interdisciplinary Approach of 'Dream' in East Asia
 - ・分科会18：Administrative Meeting for the Joint Symposium
 - ・北大フロンティア基金
 - ・平成29年度予算案（本学関係分）の主要事項
 - ・平成28年度北海道大学ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座を実施
 - ・第2回HUCIフォーラム「海外大学との英語による協働教育をどう進めるか－学内の好事例と今後の課題」を開催
 - ・ワークショップ「学生の思考を深め、発言を促すための問いかけと場づくり」を開催
 - ・「英語によるアカデミック・プレゼンテーションの基礎」を開催
 - ・「シラバスのブラッシュアップ研修」を開催
 - ・第2回鮮度保持技術シンポジウムを開催
 - ・小中学生向け科学体験イベント「さっぽろサイエンスフェスタ2016 in 北大」を開催
 - ・人材育成本部上級人材育成ステーションS-cubicで第30回「赤い糸会&緑の会」を開催
- 2月号**
- ・平成28年度「北海道大学総長賞」表彰式を挙
 - ・北海道大学一般入試の志願状況
 - ・AO入試合格者の発表
 - ・北大フロンティア基金
 - ・新渡戸フェローゼミ全体発表会を開催
 - ・ミャンマーと米国の北海道大学アンバサダーを委嘱
 - ・小学生と外国人留学生の歩くスキー実習を実施
 - ・研究者のためのスキルアップセミナー⑨「Sの法則：プレゼンのためのデザイン入門」を開催
- 3月号**
- ・本学職員表彰を実施
 - ・農学研究院の野口 伸教授が平成28年度北海道科学技術賞を受賞
 - ・木村 汎名誉教授がフジサンケイグループの第32回正論大賞を受賞

- ・北海道大学一般入試（前期日程・後期日程）及び私費外国人留学生入試の実施と合格者の発表
 - ・北大フロンティア基金
 - ・平成28年度春季外国人留学生フェアウェルパーティーを開催
 - ・ザンビアと北米（カナダ・米国）の北海道大学アンバサダー・パートナーを委嘱
 - ・平成28年 北大ペンハロー賞授与式を挙
 - ・在青島日本国総領事と本学学生との意見交換会を実施
 - ・キャンパスマスタープラン2017応援ワークショップを開催
 - ・研究室マネジメント研修を開催
 - ・英語コミュニケーション研修を開催
 - ・平成28年度第2回北海道大学TF研修会を開催
 - ・第14回創成シンポジウム「科学と芸術のあいだーアートが北大を変えるー」を開催
 - ・新技術説明会を開催
- 4月号**
- ・平成28年度学士学位記授与式の挙
 - ・総長告辞（学士学位記授与式）
 - ・来賓祝辞（学士学位記授与式）
 - ・平成29年度入学式の挙
 - ・総長告辞（入学式）
 - ・平成29年4月 教育研究組織の改革
 - ・教育関係共同利用拠点に再認定
 - ・本学永年勤続者表彰に96氏
 - ・名誉教授に43氏
 - ・野町素己准教授が日本学術振興会賞と日本学士院学術奨励賞を受賞
 - ・北海道大学と北海道テレビ放送株式会社が連携プログラム実施協定を締結
 - ・平成29年度北海道大学の予算
 - ・北大フロンティア基金
 - ・新渡戸スクール修了式を挙
 - ・平成28年度新渡戸カレッジ修了祝賀会を挙
 - ・平成28年北大えるむ賞授与式を挙
 - ・平成28年度北海道大学大塚賞授与式を挙
 - ・平成28年度北海道大学クラーク賞授与式を挙
 - ・平成28年度北海道大学鈴木章科学奨励賞－自然科学実験－表彰式を挙
 - ・平成28年度北海道大学企業研究セミナーを開催
 - ・ガーナ大学で「日本留学フェア」を開催
 - ・北海道大学アンバサダー・パートナー委嘱式を開催（インドネシア、フィンランド、フィリピン）
 - ・2017 ProSPER.Net Young Researchers' Schoolに参加
 - ・第3回HUCIフォーラム「北海道大学の国際化を今後どのように進めるか～IAU-ISAS提言を受けて～」を開催
 - ・国際連携研究教育局（GI-CoRE）量子医理工学グローバルステーションが第4回シンポジウムを開催
 - ・第2回北大URAシンポジウム「大学の『研究力』のモノサシとは？－指標による可視化とその活用－」を開催
 - ・学位取得を計画的に進めるためのプロジェクトマネジメント研修を開催
 - ・TF振り返り研修会を開催
 - ・人材育成本部上級人材育成ステーションS-cubicで第31回「赤い糸会&緑の会」を開催
- 5月号**
- ・春の叙勲に本学から5氏
 - ・北海道大学交流デー（江原大学校）を開催
 - ・北海道大学交流デー（吉林大学・東北師範大学）を開催
 - ・「onちゃん入学セレモニー」を開催
 - ・北大フロンティア基金
 - ・「北海道大学短期留学プログラム（HUSTEP）」「日本語・日本文化研修コース（日研コース）」及び「日本語研修コース」入学式を挙
 - ・平成29年度春季外国人留学生ウェルカムパーティーを開催
 - ・北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生採用証書授与式を挙
 - ・新入留学生オリエンテーションを実施
- 6月号**
- ・名誉教授称号授与式の挙
 - ・オタゴ大学と大学間交流協定を締結
 - ・名和総長が第11回日中大学フォーラム（上海）で基調講演
 - ・ボゴール農業大学ジョブフェア2017への参加とインドネシアリエゾンオフィス開設
 - ・北大フロンティア基金
 - ・新渡戸スクール入校式を開催
 - ・札幌キャンパスで第14回「キャンパス・クリーン・デー」を実施
 - ・高等教育研修センターにて各研修等を開催
 - ・国際教育研究センターで「一般日本語」「多文化交流科目」2017年度第1学期を開講
- 7月号**
- ・北海道大学と株式会社日立製作所が動体追跡粒子線がん治療装置で全国発明表彰「恩賜発明賞」を受賞

- ・「北海道大学入試改革フォーラム2017」を開催
- ・「数理・データサイエンス教育研究センター」を設置
- ・オランダ王国大使館農務参事官の講演会を開催
- ・北大フロンティア基金
- ・平成29年度北海道大学宮澤記念賞授与式を挙
- ・平成29年度北海道大学レーン記念賞授与式を挙
- ・「第2回北海道大学フィンランドディ みんなで夏至祭を楽しもう！」を開催
- ・高等教育研修センターにて各研修等を開催
- ・「製薬企業4社合同 共同研究公募事業説明会」を開催
- ・「設備市場システム 部局等説明会2017」を開催
- ・化学物質取扱講習会を開催
- ・人材育成本部国際人材育成プログラムI-HoPで若手研究者向けリーダーシップ研修（英語）を開催

8月号

- ・松野博一文部科学大臣が本学を視察
- ・北海道大学 緑のピアガーデン2017を開催
- ・北大フロンティア基金
- ・「平成29年度北海道大学実務研修報告会」を実施
- ・平成29年度北海道大学入試説明会を実施
- ・名和総長が中国科学院大学雁栖湖キャンパスを訪問
- ・名和総長がTimes Higher Education Research Excellence Summit Asia-Pacific 2017に出席
- ・名和総長が第3回日本・南アフリカ大学フォーラム（SAJUフォーラム）に出席
- ・名和総長がロシア連邦モスクワ国立大学ヴィクトル・サドーヴニチイ学長と懇談
- ・鈴木 章ユニバーシティプロフェッサーが中国の高校生に講演
- ・平成29年度北海道大学新渡戸賞授与式を挙
- ・平成29年度北海道大学公開講座「『非常識』が照らし出す私たちの未来」が終了
- ・高等教育研修センターにて各研修等を開催
- ・2017 WinGS Global Networking Award 授賞式を開催
- ・女子中高生の理系進路選択プログラム「楽しくサイエンス！～いろいろな科学を知ろう～ in 旭川」を開催
- ・名和総長と女性研究者との懇談会を開催
- ・人材育成本部国際人材育成プログラムI-HoPで「7つの習慣」セミナー（英語）を開催
- ・第3回「食科学プラットフォームセミナー」を開催
- ・国際連携研究教育局（GI-CoRE）人獣共通感染症グローバルステーションが「第5回人獣共通感染症克服のためのコンソーシアム会議」と「市民公開講座」を開催
- ・国際連携研究教育局（GI-CoRE）と遺伝子病制御研究所が合同シンポジウムを開催

9月号

- ・名和総長に忠北中学校（韓国）が名誉工学博士号を授与
- ・札幌キャンパスを駆け抜ける―「北海道マラソン2017」
- ・「パブリックスピーキング講座」及び「メディアトレーニング講座」を開催
- ・北大フロンティア基金
- ・平成29年度オープンキャンパスを開催
- ・「北海道大学進学相談会」を東京で開催
- ・平成29年度教員免許状更新講習を開催
- ・平成29年度北海道大学鈴木章記念賞―自然科学実験―被表彰者の決定
- ・平成29年度小島三司奨学金受給者の決定
- ・国際連携機構日本語研修コース修了式（2017年4月入学者）
- ・平成29年度国際連携機構外国人留学生送別会を開催
- ・高等教育研修センターにて各研修等を開催
- ・平成29年度科学研究費助成事業大型研究種目に採択
- ・イノベーション・ジャパン2017に出展
- ・北洋銀行ものづくりテクノフェア2017に出展
- ・IoT/AI技術で切り拓く農業改革等への糸口「共同研究発掘フェア in 北洋銀行ものづくりテクノフェア2017」を実施
- ・北海道経済連合会が工学研究院視察を実施
- ・Hokkaidoサマー・インスティテュート&国際ソフトマターサマースクール2017を開催
- ・「先端ソフトマターに関する北海道大学-ImPACTジョイントシンポジウム：一分子からタフポリマーへ」開催
- ・国際連携研究教育局（GI-CoRE）量子医理工学グローバルステーションが第4回医学物理サマースクールを開催

10月号

- ・日本経済団体連合会会長・副会長等が本学を視察
- ・北海道大学ホームカミングデー2017の開催
 - ・総務企画部広報課
 - ・歓迎式典・記念講演会
- ・文学研究科・文学部、教育学院・教育学研究院・教育学部、法学研究科・法学部、経済学院・経済学研究院・経済学部
- ・公開シンポジウム・同窓会総会・同窓会合同懇親会
- ・情報科学研究科
- ・2017年度北楡会・北海道大学情報系交流会

- ・水産科学院・水産科学研究所・水産学部, 北水同窓会
水産学部卒業生のつどい～講演会～
- ・環境科学院・地球環境科学研究所, 環境科学同窓会
松野環境科学賞授賞式, 修了生による講演会, コース・研究室紹介パネル展示, 懇親会
- ・理学院・理学研究所・理学部, 生命科学院・先端生命科学研究院, 理学部同窓会
理学部ホームカミングデー
- ・薬学研究所・薬学部
北海道大学薬学部の現状と第20回北海道大学薬学部生涯教育特別講座秋季講演会
- ・農学院・農学研究所・農学部
市民公開・農学特別講演会「農と食が創る持続的な社会」
- ・国際広報メディア・観光学院, メディア・コミュニケーション研究所
ホームカミングデー@IMCTS2017 (修了生meet在学生2017)
- ・保健科学院・保健科学研究所・医学部保健学科
保健科学研究所ホームカミングデー (分野紹介・講演会)
- ・工学院・工学研究所・工学部
工学系イノベーションフォーラム2017, 北工会サークル展示, 土木工学研究棟内覧ツアー, 同窓生向け講演会, 同窓生との全体懇親会
- ・医学院・医学研究所・医学部
北海道大学医学部フラテ祭2017
- ・獣医学院・獣医学研究所・獣医学部
獣医学部同窓会平成29年度通常総会, 新評議員会・新理事会, フォーラム・交流会, 懇親会
- ・北方生物圏フィールド科学センター
「生物生産研究農場」ミニツアー, 植物園の見学
- ・総合博物館
学生による展示解説, 新設した常設展示室「鉱物・岩石標本の世界」の展示案内
- ・大学文書館
特別展示「半澤洵教授の納豆普及大作戦!」, 企画展示「佐藤昌介一北大の牽引者」, 常設展示「北大生の群像」「札幌農学校遊戯会」「新渡戸稲造と遠友夜学校」
- ・公認学生団体 (学務部学生支援課)
北海道大学写真部 ホームカミングデー展, 北海道大学陸上競技部 陸上競技部OB交歓会
- ・北大キャンパスビジットプロジェクト
キャンパスツアー - 現役北大生とめぐるキャンパス今昔 -
- ・創成研究機構
第15回創成シンポジウム「大地に眠る物語を読む 考古学者と人形劇師」
- ・北海道大学校友会エルム
OB講演会・在学生との懇談会, 保護者会員懇談会・キャンパスツアー
- ・ほっかいどう同窓会
ランチパーティー
- ・恵迪寮同窓会
文化講演と寮歌の集い
- ・北大フロンティア基金
- ・平成29年度北海道大学インターンシップを実施
- ・名和総長が東方経済フォーラム及び日露学生フォーラムに参加
- ・コチュテル・プログラムに本学学生が初めて参加
- ・アディスアベバ大学で「日本留学フェア」を開催
- ・外国人留学生が鹿追町で小学生と農業体験を実施
- ・Integrated Science Program (ISP) 入学式を挙げる
- ・「北海道大学短期留学プログラム (HUSTEP)」「日本語・日本文化研修コース (日研コース)」及び「日本語研修コース」入学式を挙げる
- ・若者政策コンテスト決勝大会で新渡戸スクール生が入賞
- ・新渡戸スクール修了式を挙げる
- ・北海道大学が特色ある放射線安全管理の取り組みによって第1回森川記念賞を受賞
- ・平成29年度「局所排気装置等の定期自主検査者講習」を開催
- ・独立行政法人日本学術振興会 平成28年度特別研究員等審査会専門委員 (書面担当) 及び国際事業委員会書面審査員の表彰に本学から4名
- ・生物機能分子研究開発プラットフォーム推進センター動物実験施設慰霊祭を挙げる
- ・高等教育研修センターにてシンポジウム等を開催
- ・「北大テニユアトラック事業説明会」を開催
- ・研究者のためのスキルアップセミナー⑩「プレゼンテーションのための非言語表現」を開催
- ・TERRACE - 科学とアートが出会う場所 - Act 1「北海道というヴァナキュラーな風景」を開催
- ・TERRACE MEETING「大友良英×中垣俊之と語るTERRACEってなんだ?」を開催

- 11月号
- ・北海道大学×技術ベンチャーセミナー「研究開発型ベンチャー創出サミット」を開催
 - ・文化功労者にユニバーシティプロフェッサー・名誉教授 喜田 宏氏
 - ・秋の叙勲に本学から3氏
 - ・平成29年度科研費審査委員の表彰に本学から6名
 - ・名和総長が第4回日本・インドネシア学長会議に出席
 - ・名和総長がインドネシア同窓生との夕食会に出席
 - ・笠原理事・副学長が第10回日中学長会議に出席
 - ・「北海道大学進学相談会」を大阪で開催
 - ・北大フロンティア基金
 - ・イチョウ並木の一般開放を実施
 - ・サクシュコトニ川リフレッシュの実施
 - ・北海道大学総長奨励金給付証書並びに北海道大学私費外国人留学生特待プログラム留学生採用証書授与式を挙
 - ・平成29年度秋季外国人留学生ウェルカムパーティーを開催
 - ・秋のガレージセールを開催
 - ・北海道地区FD・SD推進協議会総会及び北海道FD・SDフォーラム2017を開催
 - ・高等教育推進機構等自衛消防訓練を実施
 - ・インターナショナルハウス等で消防避難訓練を実施
 - ・留学生と札幌市民で行く防災バスツアーを実施
 - ・情報セキュリティ対策セミナーを開催
 - ・キッズ フォレスト2017に参加
 - ・アグリビジネス創出フェア2017に出展
 - ・地域の中核人材育成プログラム「地域協働ファシリテーター育成講座」を始動
 - ・人材育成本部上級人材育成ステーションS-cubicで第32回「赤い糸会&緑の会」を開催
- 12月号
- ・平成29年度医学教育等関係業務功労者表彰に本学から2氏
 - ・総合博物館 小林快次准教授に北海道新聞文化賞
 - ・AO入試合格者の発表
 - ・国際総合入試合格者の発表
 - ・帰国子女入試合格者の発表
 - ・大学入試センター試験、本学一般入試個別学力検査等 実施体制等の決定
 - ・北大フロンティア基金
 - ・給付型奨学金「きのとや奨学金」を創設
 - ・平成29年度北海道大学ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座を実施
 - ・情報セキュリティセミナーを開催
 - ・2017年新渡戸スクールメンターフォーラムを開催
 - ・「日露青年フォーラム2017」を本学で開催
 - ・高等教育研修センターにて講演会等を開催
 - ・「テニューアトラック交流会」を開催
 - ・「SAPPOROおみやげパワーアップフェア in 北大」を開催
 - ・「製薬企業5社合同 共同研究公募事業説明会」を開催
 - ・第31回ビジネスEXPO2017に出展
 - ・研究者のためのスキルアップセミナー①「北大にFacebookがやってくる～執行役員に聞くSNSの本当の使い方～」を開催

部局ニュース

- 1月号
- ・工学系部局がインド工科大学ハイデラバード校と部局間交流協定を締結
 - ・歯学研究科が全北大学校歯医学専門大学院との姉妹校提携25周年記念交流行事を開催
 - ・歯学研究科で香港大学歯学部学生団体との交流行事を開催
 - ・スラブ・ユーラシア研究センターが冬期国際シンポジウム「体制転換から四半世紀：ポスト共産主義社会の多様化を再考する」を開催
 - ・国際広報メディア・観光学院で国際シンポジウム「地方創生と国際化－北海道の未来への挑戦」を開催
 - ・平成28年度 薬学部成績優秀賞授与式を挙
 - ・観光学高等研究センター公開講座「明日の観光を考える」が終了
 - ・工学系部局でアクティブラーニングに関するFDを開催
 - ・工学系部局で安全衛生管理講演会を開催
 - ・文学研究科で研究室運営に関するFD研修を開催
 - ・環境科学院・地球環境科学研究院でFD研修会「国際的な教育プログラム構築に向けて」を開催
 - ・環境科学院・地球環境科学研究院で「ハラスメント予防FD研修会」を開催
 - ・農学研究院で平成28年度第2回FD研修会を開催
 - ・生命科学院がアクティブラーニング形式の「Research Ethics Workshop for IGP students」を開催
 - ・低温科学研究所技術部で第22回技術報告会を開催
 - ・総合博物館で「はじめての人工雪－誕生80年記念企画 中谷宇吉郎展」を開催

- ・環境健康科学研究教育センターが第2回世界保健機関西太平洋地域協力センターフォーラムに参加
 - ・「脳科学研究教育センター合宿研修」の開催
 - ・北海道大学病院で「第55回ふれあいコンサート クリスマスのタベ」を実施
 - ・附属図書館で「救命導入(AED)講習会」を開催
 - ・タイ・バンコクにおいて「第3回国際食資源学フォーラムーアジアの食資源問題と大学の果たすべき役割ー」を開催
- 2月号**
- ・北海道大学病院で陽子線治療に関するIAEA技術協力研修を開催
 - ・経済学部で北海道財務局理財部長の特別講演会を開催
 - ・農学研究院で平成28年度第3回FD研修会を開催
 - ・農学院・農学研究院・農学部において「留学生新年会」を開催
 - ・工学系部局で「第2回こころのケアに関する講習会」を開催
- 3月号**
- ・低温科学研究所がハワイ大学マノア校化学科と部局間交流協定を締結
 - ・歯学研究科がカトマンズ大学歯学部と部局間交流協定を締結
 - ・獣医学研究科と札幌市円山動物園が連携協定を締結
 - ・在札幌オーストラリア領事館 ロナルド・デイビッド・グリーン領事が農学院・農学研究院・農学部を訪問
 - ・教育学部 ESDキャンパスアジア・パシフィックプログラム2016の全日程が終了
 - ・平成28年度水産科学院・水産学部外国人留学生送別懇談会を開催
 - ・先端生命科学研究院でFDSD研修会「総会2016」を開催
 - ・平成28年度北海道大学北方生物圏フィールド科学センター耕地圏・水圏技術職員研修を開催
 - ・附属図書館で第3回北海道大学の国際競争力強化のためのオープンサイエンスワークショップを開催
 - ・総合博物館で冬季企画展示「北大古生物学の巨人たち」を開催
 - ・医学部卒業生高須泰彦氏から関係資料を大学文書館で受贈
- 4月号**
- ・国際広報メディア・観光学院が株式会社JT北海道と連携協定を締結
 - ・総合化学院と南京大学化学化工学院がダブル・ディグリー・プログラムの覚書を締結
 - ・「総合化学院ラーニング・サテライト」を国立台湾大学、南京大学で実施
 - ・水産科学院各種表彰授賞式を挙行
 - ・水産学部キャンパス移行式及びくろしお賞授賞式を挙行
 - ・会計専門職大学院でメルコ学術振興財団と共催セミナーを開催
 - ・北方生物圏フィールド科学センターで「公開水産科学実習」を開催
 - ・第1回保健科学研究院市民公開シンポジウム「高齢者をとりまく社会と健康」を開催
 - ・薬学研究院が第9回薬学研究院研究発表会(FD研修会)を開催
 - ・工学系部局で平成28年度工学系産業技術フォーラムを開催
 - ・工学研究院で寄附分野「原子力支援社会基盤技術分野」の開設式を挙行
 - ・観光学高等研究センター「観光地域マネジメント寄附講座研究部門」開設10周年記念シンポジウムを開催
 - ・医学部寄附講座「探索病理学講座」が終了
 - ・社会科学実験研究センターで2016年度SAGE-北大社会科学国際優秀論文賞授与式を挙行
 - ・環境健康科学研究教育センターが平成28年度後期「社会と健康」ディプロマ授与式を開催
 - ・脳科学研究教育センター発達脳科学専攻第13期修了生に修了証書授与
 - ・総合博物館「知の交差点」で卒論ポスター発表会を開催
- 5月号**
- ・教育学院・教育学研究院がタイ・ナコーンパトムラチャパット大学大学院教育学院と学術交流プログラムを開催
 - ・国際食資源学院で学院の看板を掲出
 - ・農学研究院でJAグループ北海道と共同セミナーを開催
 - ・経済学部でメンタルヘルス講演会を開催
 - ・文学研究科で文系博士のキャリア構築に関するFD研修を開催
 - ・薬学部で新入生歓迎会を開催
 - ・平成29年度薬学実務実習開始セレモニーを挙行
 - ・脳科学研究教育センター発達脳科学専攻の開講式を挙行
 - ・北海道大学病院で新規採用者多職種合同歓迎会を開催
 - ・理学研究院AL推進室・ALP企画シンポジウム「専門教育のためのアクティブラーニング」を開催
 - ・北大-NIMSジョイントシンポジウムを開催
 - ・附属図書館で映画上映会「図書館×映画」を開催
 - ・応援団・恵迪寮関係資料を大学文書館で受贈
- 6月号**
- ・歯学研究院・歯学院が香港大学牙医学院と部局間交流協定を締結
 - ・保健科学研究院が岩見沢市と連携協定を締結
 - ・函館キャンパスで「春のキャンパス一斉清掃」を実施
 - ・経済学院・会計専門職大学院と経済学部で北海道財務局特別講演会を開催
 - ・経済学院・経済学研究院・経済学部でFD研修を開催
 - ・会計専門職大学院で日本内部監査協会と共催セミナーを開催
 - ・獣医学部で「地方自治体等合同就職説明会」を開催
 - ・農学研究院で平成29年度第1回FD研修会を開催
 - ・国際広報メディア・観光学院で平成29年度履修証明プログラム「アステイネーション・マネージャー育成プログラム」がスタート

- ・北方生物圏フィールド科学センターで「植物販売会」を開催
 - ・植物園の夏期開園とオリジナルグッズの販売
 - ・大学院授業の一環として学生がミュージアムグッズを開発
 - ・有賀一郎旧蔵資料を大学文書館で受贈
 - ・看護週間－「看護の日の夕べ」ほか様々な催しを実施
 - ・北海道日本ハムファイターズがひまわり分校の子どもたちと交流
- 7月号**
- ・北海道大学大学院工学院－九州大学大学院工学府共同資源工学専攻開設式を挙
 - ・農学研究院と国際食資源学院が北海道と農林・食分野の連携協力に関する覚書調印式を実施
 - ・経済学部成績優秀者表彰式を挙
 - ・環境科学院で北大祭・研究施設公開「知っておきたい環境科学」を開催
 - ・6研究所・センター合同で一般公開を開催
 - ・薬学部で薬害をテーマにFD研修会を開催
 - ・保健センターで第5回健康キャンパス北大「健康づくり支援セミナー」を開催
 - ・突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点が「北海道防災・減災シンポジウム2017」を開催
 - ・北大と東北大のリーディングプログラムが合同シンポジウムを開催
- 8月号**
- ・「数理・データサイエンス教育研究センター」看板上掲式を挙
 - ・工学研究院で建築家・安藤忠雄講演会「自由と勇氣」を開催
 - ・スラブ・ユーラシア研究センター夏期国際シンポジウム「中国とロシア・北東アジアの断層線：百年にわたる競争的協力」開催
 - ・メディア・コミュニケーション研究院公開講座「トランプのアメリカ」が終了
 - ・メディア・コミュニケーション研究院、国際広報メディア・観光学院で平成29年度第1回研究セミナーを開催
 - ・国際食資源学院「ワンダーフォーゲル実習Ⅰ」をデンマークで実施
 - ・農学・食資源学特別講演会「若者よ、グローバル人材となろう」を開催
 - ・薬学部で第20回生涯教育特別講座夏季講演会を開催
 - ・工学系部局で救急救命講習会を実施
 - ・工学系部局で「第1回こころのケアに関する講習会」を開催
 - ・北方生物圏フィールド科学センターでセミナー「海外で学ぶ－Challenge Your Future!」を開催
 - ・北大農場公開2017「夏の北大農場を味わおう」
 - ・北方生物圏フィールド科学センター植物園で小学生向け公開講座「葉っぱで作る植物図鑑」を開催
 - ・小学生限定「学芸員まるごと！体験ツアー in 北大総合博物館」を開催
 - ・総合博物館でカルチャーナイト2017「星空とチェンバロの夕べ」を開催
 - ・総合博物館で常設展示室新設特別企画「惑星地球の時空間」を開催
 - ・北海道大学病院で夜間想定防火訓練を実施
 - ・北海道大学病院で「第56回ふれあいコンサート 七夕の夕べ」を実施
 - ・物質科学リーディングプログラムが科学技術の倫理を考える特別シンポジウム「科学者は産業活動にどうコメントすべきか？～化学者がみずから決めた規範と実際～」を開催
- 9月号**
- ・「北海道大学－北京科技大学 協定締結30周年記念式典」を開催
 - ・工学研究院で「日中韓工学系合同シンポジウム関係校会議」を開催
 - ・水産科学研究院でひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～「これが意外とムズカシイ！ヤドカリたちの社会関係」を実施
 - ・北海道大学獣医学部×札幌市円山動物園 市民公開講座「科学する動物園－大学と動物園の連携が拓く未来－」を開催
 - ・北方生物圏フィールド科学センターでサステナビリティ・ウィーク2017公開講座「日米における古くからの農法から農業のサステナビリティを学ぶ」を開催
 - ・北方生物圏フィールド科学センターで「じゃがいも掘り」を開催
 - ・法学研究科・附属高等法政教育研究センター公開講座「社会の分断をいかに乗り越えるか？」が終了
 - ・法学研究科サマーセミナー「最新の知的財産訴訟における実務的課題－著作権・不正競争・意匠・商標編－」を開催
 - ・公共政策大学院が「地方公務員向け・地方議員向けサマースクール」を開催－夕張市の財政破綻の経緯を踏まえ自治体財政の健全化について討議－
 - ・薬学研究院が「第10回薬学研究院研究発表会」を開催
 - ・教育学部でESDキャンパスアジア・パシフィックプログラム2017（夏季北大プログラム）を開催
 - ・農学院において「留学生オリエンテーション」を開催
 - ・北海道大学納骨堂慰霊式を挙
 - ・附属図書館でフィンランドをテーマとした図書展示を開催
 - ・附属図書館で「数学」「物理学」「統計学」入門図書展示を開催
- 10月号**
- ・タイ王国農業・協同組合省副大臣、同地理情報・宇宙技術開発庁副長官及び内閣府官房審議官が農学研究院を視察
 - ・歯学部創立50周年記念事業（記念講演会、記念式典、記念祝賀会）を開催
 - ・工学研究院で土木工学研究棟改築記念式典を挙
 - ・北海道大学病院が夕張市と連携協定を締結
 - ・経済学研究院で嶺南大学校商経大学との共同セミナーを開催
 - ・国際広報メディア・観光学院が英国シェフィールド大学及びフィンランド・ヘルシンキ大学との教育・研究交流「TLLP スタディ・ウィーク」を開催

- ・平成29年度 地球環境科学研究院公開講座「健康を目指す環境科学」を終了
- ・薬学研究院で障害者差別解消とハラスメントをテーマにFD研修会を開催
- ・FD研修「新渡戸ポートフォリオ（理学生命科学版）について」を開催
- ・医学部・歯学部合同慰霊式を挙げる
- ・動物慰霊式を挙げる
- ・北海道大学病院で災害医療訓練、CBRNE災害対策訓練を実施
- ・北海道大学病院が第2回北海道国際医療ネットワークを開催
- ・附属図書館で北海道大学インターンシップを実施
- ・北図書館で札幌市立高等学校「職場体験学習」の生徒を受入れ
- ・環境健康科学研究教育センターが平成29年度前期「社会と健康」ディプロマ授与式を開催
- ・リーディングプログラム新プログラム生10名を採用
- ・獣医学系事務部の近藤哲仁主任が全国レク大会スポーツチャンバラで総合優勝

11月号

- ・人獣共通感染症リサーチセンター、獣医学研究院及び水産科学研究院が「ISO17025」の認定を取得
- ・生命科学院が「第5回生命科学国際シンポジウム」を開催
- ・保健科学研究院公開講座「ようこそ！ヘルスサイエンスの世界へ」を開催
- ・平成29年度水産学部公開講座「海をまるごとサイエンス！」が終了
- ・国際食資源学院でFD研修会を開催
- ・経済学研究院で研究会「地域格差をどう考えるか」を開催
- ・経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センターでセミナーを開催
- ・経済学部で第4回プレゼン大会を開催
- ・経済学院・経済学部で「学部生、研究生のための大学院ガイダンス」を開催
- ・法学研究科・法学部・公共政策大学院で留学生パーティーを開催
- ・「法科大学院に関するアドバイザーグループ会議」を開催
- ・北方生物圏フィールド科学センターで「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～」を開催
 - ◆生き物の個性から学ぶ豊かな森の守り方
 - ◆体験！ベリー研究の最前線“君も育種家になろう！”
 - ◆動物の動きを測ってみよう～装着型記録計による行動計測～
 - ◆海の森の調査隊～おしよの“こんぶ”を知る、守る～
 - ◆のぞいてみよう海の底、北海道の魚たちをまるごとリサーチ
 - ◆北大農場での生物資源の循環をみてみよう
 - ◆挑戦！イクラをさかんにしてみよう！
- ・北方生物圏フィールド科学センター七飯淡水実験所でIBBP技術講習会を開催
- ・北方生物圏フィールド科学センター和歌山研究林で一般公開事業「和歌山研究林の歴史的建造物と照葉樹天然林」を開催
- ・北方生物圏フィールド科学センターで畜魂祭挙げる
- ・函館キャンパスで「防災訓練」と「秋のキャンパス一斉清掃」を実施
- ・消防訓練等の実施
- ・脳科学研究教育センターで合宿研修を開催
- ・総合博物館「ミュージアム・カフェ 金曜ナイトセミナー&コンサート」を開催
- ・「トビタテ！北海道」の活動に附属図書館が協力

12月号

- ・平成29年度低温科学研究所公開講座「広がる低温の魅力～低温科学の最前線～」が終了
- ・メディア・コミュニケーション研究院公開講座「民意は誤りうるか？－思想史からみるデモクラシー」が終了
- ・歯学研究院で「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」平成29年度連携シンポジウム in 札幌を開催
- ・総合化学院が「第13回北海道大学－南京大学ジョイントシンポジウム」を開催
- ・「総合化学院ラーニング・サテライト」をチュラロンコン大学、南京大学で実施
- ・環境健康科学研究教育センターで平成29年度ラーニングサテライト事業－ソウル大学校との共同講義を開講
- ・医理工学院が第1回学生研究発表会／第1回企業・医療機関・行政との交流会を開催
- ・農学・食資源学特別講演会「統合的水資源管理と排水再利用」を開催
- ・農学院・農学研究院・農学部で第9回Sapporo Alumni Lecturesを開催
- ・文学研究科で特別支援室の活動に関するFD研修を開催
- ・経済学研究院・経済学院・経済学部で外国人留学生懇親会を開催
- ・経済学部で公認会計士・監査審査会会長の特別講演会を開催
- ・経済学部で札幌国税局長の特別講演会を開催
- ・経済学部特別講演会を開催
- ・経済学研究院地域経済経営ネットワーク研究センターでシンポジウムを開催
- ・工学系部局で安全衛生管理講演会を開催
- ・歯学研究院で「動物供養祭」を挙げる
- ・薬学研究院・薬学部で「実験動物慰霊祭」を挙げる
- ・薬学研究院・薬学部で消防訓練を実施
- ・北海道大学病院で指導医ワークショップを開催
- ・北海道大学病院で平成29年度地域連携懇話会を開催

- ・北海道大学病院で総合防災訓練を実施
- ・北極域研究センターで北極域課題解決人材育成講座「北極域科学概論」を開催
- ・第15回脳科学研究教育センターシンポジウム「脳を知る」を開催
- ・保健センターで第6回健康キャンパス北大「予期せぬ危険から身を守ろう」を開催
- ・物質科学リーディングプログラムが第5回国際シンポジウムを開催

お知らせ

- 2月号 ・過半数代表候補者の決定
- 3月号 ・共済組合員の皆様へ 被扶養者の認定又は取消等の届出は速やかに
- 4月号 ・大学文書館公文書室が「国立公文書館等」の指定を受ける
・平成29年度 人間ドックの実施について
- 5月号 ・北海道地区福祉共同事業契約宿泊施設の開設
・グローバルファシリティセンター機器分析受託部門を創成科学研究棟に移設
- 7月号 ・「北海道大学の職員の給与等の水準（平成28年度）」の概要について
・第2期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果
・夏季期間における工学系建物の閉鎖の実施について
- 8月号 ・被扶養者の要件の確認
- 9月号 ・ドイツから返還されたアイヌ民族のご遺骨の安置について
・外国人留学生向け賃貸住宅仲介店舗を設置
- 10月号 ・医療費通知事業の実施
- 11月号 ・グローバルファシリティセンターで新たな社会貢献活動～産学協働によるものづくりイノベーション

寄稿等

- 3月号 ・定年退職を迎えるにあたって

博士学位記授与

- 1月号 ・課程博士24人、論文博士2人
- 4月号 ・課程博士299人、論文博士19人
- 7月号 ・課程博士24人、論文博士4人
- 10月号 ・課程博士99人、論文博士7人

同窓会との交流

- 2月号 ・恵迪寮同窓会「新年寮歌歌始めの会」
- 5月号 ・函館同窓会「総会及び懇親会」
- 8月号 ・京都エルム会総会
・平成29年度宮城県同窓会総会および懇親会
・平成29年度新潟エルム会総会及び懇親会

レクリエーション

- 3月号 ・平成28年度 北大山岳会事業登山記録
- 8月号 ・教職員テニス大会の開催
・平成29年度学内職員バドミントン大会（個人戦）の開催
- 9月号 ・学内教職員ソフトボール大会の開催
・平成29年度学内バレーボール大会の開催
・教職員テニス大会の開催
- 10月号 ・教職員卓球大会の開催 ー団体戦・ペア・個人戦ー
・平成29年度学内教職員フットサル大会の開催
- 11月号 ・平成29年度 第47回札幌社会人サッカーリーグ及び第32回札幌リーグカップに出場
・教職員テニス大会の開催

諸会議の開催状況（平成28年12月～平成29年11月分掲載）

学内規程

- 1月号 ・国立大学法人北海道大学職員災害補償法定外給付規程の一部を改正する規程
・国立大学法人北海道大学職員育児休業・介護休業等規程の一部を改正する規程
・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園職員就業規則の一部を改正する規則
・国立大学法人北海道大学契約職員就業規則の一部を改正する規則
・国立大学法人北海道大学短時間勤務職員就業規則の一部を改正する規則
・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園臨時職員就業規則の一部を改正する規則
・国立大学法人北海道大学特任教員就業規則の一部を改正する規則

- ・国立大学法人北海道大学職員労働時間、休憩、休日及び休暇規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学船員労働時間、休日及び休暇規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学職員給与規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学病院規程の一部を改正する規程
- 2月号
 - ・国立大学法人北海道大学オープンファシリティ使用規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学における教員の任期に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学インターナショナルハウス規程の一部を改正する規程
- 3月号
 - ・北海道大学における講座等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学設備市場規程
- 4月号
 - ・国立大学法人北海道大学職員給与規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学役員給与規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園職員給与規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学契約職員就業規則等の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園臨時職員就業規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学嘱託職員就業規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学職員退職手当規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学職務発明規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学発明補償金支払規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学成果有体物取扱規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学国際連携機構規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学組織規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学経営協議会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学人事委員会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学評価規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学技術支援本部運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学安全衛生本部規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学情報セキュリティ委員会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学動物実験委員会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学化学物質等管理委員会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学情報公開・個人情報保護審査委員会規程の一部を改正する規程
 - ・教育職員免許状授与の所要資格の取得に関する規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学獣医師受託研修生受入れ規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学中国医学研修員規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学利益相反マネジメント規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学職員表彰規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学全学運用教員規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学予算決算及び経理規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学アイソトープ総合センター運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学北方生物圏フィールド科学センター運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学アイヌ・先住民研究センター運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学社会科学実験研究センター運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学環境健康科学研究教育センター運営委員会規程
 - ・北海道大学総合博物館運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学文書館運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学保健センター規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学保健センター運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学国際連携研究教育局運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学における講座等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学アドミッションセンター規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学創成研究機構規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学創成研究機構グローバルファシリティセンター分析・加工受託規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学国際連携機構規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学産学・地域協働推進機構規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学総合IR室規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学入学者選抜委員会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学事務組織規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学通則の一部を改正する規則
 - ・北海道大学大学院通則の一部を改正する規則
 - ・北海道大学学位規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学現代日本学プログラム課程規程の一部を改正する規程

- ・北海道大学文学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学教育学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学法学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学経済学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学理学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学医学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学歯学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学薬学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学工学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学農学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学獣医学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学水産学部規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学新渡戸カレッジ規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学全学教育科目規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院特別教育プログラム新渡戸スクール規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学院One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム規程
- ・北海道大学大学院One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム運営委員会規程
- ・北海道大学大学院共通授業科目規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学職業紹介業務規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学職業紹介業務に係る個人情報適正管理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学共同研究取扱規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学受託研究取扱規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学産業創出講座等規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学動物実験に関する規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園職員就業規則の一部を改正する規則
- ・国立大学法人北海道大学契約職員就業規則の一部を改正する規則
- ・国立大学法人北海道大学短時間勤務職員就業規則の一部を改正する規則
- ・国立大学法人北海道大学子どもの園保育園臨時職員就業規則の一部を改正する規則
- ・国立大学法人北海道大学特任教員就業規則の一部を改正する規則
- ・国立大学法人北海道大学職員労働時間、休憩、休日及び休暇規程の一部を改正する規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学船員労働時間、休日及び休暇規程の一部を改正する規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学における教員の任期に関する規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学コンプライアンス基本規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学における人を対象とする医学系研究に関する規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学百年記念会館規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学埋蔵文化財調査センター運営委員会規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学職員育児休業・介護休業等規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学職員給与規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学年俸制教員給与規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学安全衛生管理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学安全保障輸出管理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学公印規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学文書処理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学大学法人文書管理規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学文書館規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学文書館利用規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学大学文書館公文書室利用規程
- ・国立大学法人北海道大学における財務及び会計に関する職務権限規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学固定資産管理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学旅費規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学寄附金規則の一部を改正する規則
- ・国立大学法人北海道大学借上宿舍等規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学病院借上宿舍規程
- ・北海道地区国立大学大滝セミナーハウス規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学オープンファシリティ使用規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学入構車両規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学病院規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学病院医療安全管理業務監査委員会規程
- ・北海道大学獣医学部・帯広畜産大学畜産学部共同獣医学課程協議会規程
- ・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター協議会規程の一部を改正する規程

- ・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター共同利用・共同研究拠点運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター共同利用・共同研究拠点共同研究委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院文学研究科規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院法学研究科規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院情報科学研究科規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院理学院規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院農学院規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院生命科学院規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院教育学院規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院環境科学院規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院水産科学院規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院保健科学院規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院工学院規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院総合化学院規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院公共政策学教育部規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学大学院工学院・九州大学大学院工学府共同資源工学専攻協議会規程
 - ・北海道大学大学院経済学院規程
 - ・北海道大学大学院経済学研究院規程
 - ・北海道大学大学院医学院規程
 - ・北海道大学大学院医学研究院規程
 - ・北海道大学大学院医学研究院附属動物実験施設規程
 - ・北海道大学大学院歯学院規程
 - ・北海道大学大学院歯学研究院規程
 - ・北海道大学大学院獣医学院規程
 - ・北海道大学大学院獣医学研究院規程
 - ・北海道大学大学院獣医学研究院附属動物病院規程
 - ・北海道大学大学院医理工学院規程
 - ・北海道大学大学院国際感染症学院規程
 - ・北海道大学大学院国際食資源学院規程
 - ・北海道大学遺伝子制御研究所附属感染癌研究センター規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学附属図書館規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学図書館委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学観光学高等研究センター運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学総合博物館施設利用規程
- 6月号**
- ・国立大学法人北海道大学ハラスメント防止規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学職員兼業規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学における公益通報の処理及び公益通報者の保護等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学コンプライアンス基本規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学安全衛生管理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学リスク管理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学災害等危機対策規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学文書処理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学法人文書管理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学情報公開規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学個人情報管理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学における個人情報の開示等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学ソフトウェア資産管理規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学情報セキュリティ対策規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学旅費規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学入構車両規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学内部監査規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学利益相反マネジメント規程の一部を改正する規程
- 7月号**
- ・北海道大学国際連携研究教育局運営委員会規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学総長選考会議規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学病的材料検査に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学総合IR室規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学組織規則の一部を改正する規則
 - ・北海道大学数理・データサイエンス教育研究センター規程
 - ・北海道大学数理・データサイエンス教育研究センター運営委員会規程

- ・国立大学法人北海道大学事務組織規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学安全衛生管理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学公印規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学文書処理規程の一部を改正する規程
- ・国立大学法人北海道大学予算決算及び経理規程の一部を改正する規程
- ・北海道大学における講座等に関する規程の一部を改正する規程
- 8月号
 - ・国立大学法人北海道大学ハラスメント防止規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学附属図書館規程の一部を改正する規程
- 10月号
 - ・国立大学法人北海道大学創成研究機構グローバルファシリティセンター分析・加工受託規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学事務組織規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学通則の一部を改正する規則
 - ・北海道大学大学院通則の一部を改正する規則
 - ・北海道大学の第1年次の学生に係る履修、修学等に関する規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学職員給与規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学理学部規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学インテグレイテッドサイエンスプログラム規程
 - ・国立大学法人北海道大学百年記念会館規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学オープンファシリティ使用規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学職員育児休業・介護休業等規程の一部を改正する規程
- 11月号
 - ・国立大学法人北海道大学組織規則の一部を改正する規則
 - ・国立大学法人北海道大学事務組織規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学経営戦略室規程
 - ・国立大学法人北海道大学総長室規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学病院借上宿舎規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学遺伝子病制御研究所附属動物実験施設規程の一部を改正する規程
- 12月号
 - ・北海道大学NITOBEd教育システム運用会議規程
 - ・北海道大学新渡戸カレッジ規程の一部を改正する規程
 - ・北海道大学新渡戸スクール規程の一部を改正する規程
 - ・国立大学法人北海道大学全学運用教員規程の一部を改正する規程

研 修

- 1月号
 - ・平成28年度北海道地区国立大学法人等学生支援担当職員SD研修
- 3月号
 - ・平成28年度法人文書管理に関する研修会
 - ・「相手に伝わる文章の書き方」講座～業務実績報告書の作成例を交えて～
- 5月号
 - ・平成29年度北海道地区国立大学法人等初任職員研修（一般職）
- 7月号
 - ・平成29年度北海道地区国立大学法人等中堅職員研修
- 8月号
 - ・平成29年度北海道地区国立大学法人等事務情報化講習会（Access研修初級編）
 - ・平成29年度国立大学法人北海道大会計実務研修
- 9月号
 - ・平成29年度北海道地区国立大学法人等技術職員研修
- 11月号
 - ・平成29年度北海道地区国立大学法人等会計基準研修
 - ・平成29年度北海道地区国立大学法人等アドバイラストラレータ研修
- 12月号
 - ・平成29年度北海道大学教務事務実務研修

表 敬 訪 問

(国内)

- 1月号
 - ・JR北海道ホテルズ株式会社 代表取締役社長 石見 誠嗣 氏
- 3月号
 - ・日本特殊陶業株式会社 代表取締役会長兼社長 尾堂 真一 氏

(海外)

- 1月号
 - ・インド工科大学ハイデラバード校 Uday B. Desai 学長
 - ・Aleksi Härkönen フィンランド北極担当大使
- 2月号
 - ・東義大学（韓国）Cho, Young-Ho 対外協力処長
 - ・マレーシア・テレンガヌ大学 Mohd Lokman bin Husain 副学長
- 3月号
 - ・Hannes Heimisson 駐日アイスランド共和国大使
- 4月号
 - ・極東連邦大学（ロシア）Dmitry N. Bepalov 副学長
 - ・華東理工大学（中国）Qu Jingping 学長
 - ・中国江蘇省人民対外友好協会 Cai Xisheng 副会長
 - ・コロラド州立大学（アメリカ）Thom Hadley 獣医生物医学 財務・戦略部長
 - ・Fortunato T. de la Peña フィリピン共和国科学技術大臣
 - ・オウル大学（フィンランド）Matti Sarén 副学長

- 5月号 ・南京農業大学（中国）Zhou Guanghong 学長・教授
 ・淡江大学（台湾）Flora Chia-I Chang 学長
 ・台北駐日経済文化代表処 Lin, Shih-Ying 教育部長
 ・極東連邦大学（ロシア）Nikita Yu. Anisimov 学長
- 6月号 ・オタゴ大学（ニュージーランド）Richard Blaikie 副学長
 ・Jukka Reino Siukosaari 駐日フィンランド共和国大使
 ・モンクット王ラカバン工科大学（タイ）Nida Larpsrisawad 学部長アドバイザー
- 7月号 ・国立東華大学（台湾）Kurtis Jai-Chyi Pei 環境学院長
 ・Richard Court 駐日オーストラリア大使
 ・ラジャマンガラ工科大学 タンヤプリ校（タイ）Prasert Pinpathomrat 学長
 ・Jean-François Paroz 駐日スイス大使
- 8月号 ・メルボルン大学（オーストラリア）David C. Jackson 教授, Lorena E. Brown 教授, Elizabeth L. Hartland 教授, アイルランド国立大学ダブリン校（アイルランド）William W. Hall 教授, アブドラ国王科学技術大学（サウジアラビア）Arnab Pain 教授
 ・慶南科学技術大学校（韓国）Nam- Kyeong Kim 総長
 ・インドネシア, マレーシア, モンゴル, タイ, ベトナム訪問団（モンゴル国立大学, モンクット王工科大学ラカバン校（タイ）他）
 ・ブレーメン大学（ドイツ）Eva- Maria Feichtner 教授
- 9月号 ・タマサート大学（タイ）Somkit Lertpaithoon 学長
 ・西交利物浦大学（中国）Xi Youmin 学長
 ・ノースカロライナ大学チャペルヒル校（アメリカ）Michael Rubinstein 教授, バリ市立工業物理化学高等専門大学（フランス）Costantino Creton 教授
 ・中国教育部 高等学校社会科学発展研究センター Wang Binglin センター長
 ・ザンビア大学（ザンビア）Luke Evuta Mumba 副学長
 ・国立台湾海洋大学（台湾）Ching-Fong Chang 学長
 ・RJE3プログラム関連5大学（極東連邦大学, 北東連邦大学, イルクーツク国立大学, サハリン国立大学, 太平洋国立大学）学長及び教職員
 ・プリンスオブソンクラー大学（タイ）ご一行
- 10月号 ・Irit Savion Waidergorn 駐日イスラエル大使館公使
 ・南京大学（中国）Chen Jun 学長
 ・カントー大学（ベトナム）Tran Trung Tinh 副学長
- 11月号 ・モンゴル国立大学（モンゴル）Tumurbaatar Yadmaa 学長
 ・慶南科学技術大学校（韓国）Choi Jine-Shang 産業福祉大学院長
 ・アフリカ地域持続可能な開発目標センター Belay Begashaw 総裁
- 12月号 ・在中イラン大使館 Yousef Hojjat サイエンスカウンセラー

訃 報

- 1月号 ・名誉教授 竹山 太郎 氏
- 2月号 ・准教授 福嶋 正巳 氏
 ・名誉教授 篠原 邦夫 氏
- 3月号 ・名誉教授 上山 英一 氏
 ・准教授 眞崎 睦子 氏
 ・名誉教授 後藤 寛治 氏
 ・名誉教授 米光 幸 氏
- 4月号 ・名誉教授 横山 眞太郎 氏
- 6月号 ・名誉教授 須田 勝彦 氏
 ・名誉教授 石井 邦宜 氏
 ・名誉教授 羽田野 六男 氏
- 7月号 ・名誉教授 白田 平 氏
- 9月号 ・名誉教授 塩川 洋之 氏
 ・名誉教授 大野 公男 氏
 ・名誉教授 太田原 高昭 氏
 ・名誉教授 村田 和美 氏
- 10月号 ・名誉教授 松川 健二 氏
- 11月号 ・名誉教授 深澤 和三 氏
 ・名誉教授 内山 洋一 氏
- 12月号 ・名誉教授 高橋 邦秀 氏

資 料

- 4月号 ・平成29年度入学者の道内・道外別及び卒業年度調べ
 ・平成29年度入学者の都道府県分布及び地域比率

- 5月号 ・ 役職員数（平成29年 5月 1日現在）
- 6月号 ・ 在籍学生数（平成29年 5月 1日現在）
 - ・ 平成29年度外国人留学生数（平成29年 5月 1日現在）
 - ・ 平成29年度国別外国人留学生数（平成29年 5月 1日現在）
 - ・ 平成28年度卒業・修了者の就職等状況一覧
- 11月号 ・ 役職員数（平成29年10月 1日現在）
 - ・ 在籍学生数（平成29年10月 1日現在）
 - ・ 広報誌等一覧（平成29年10月調査）
- 12月号 ・ 平成29年度外国人留学生数（平成29年11月 1日現在）
 - ・ 平成29年度国別外国人留学生数（平成29年11月 1日現在）
 - ・ 北大時報掲載記事事項別一覧（平成29年掲載分）

編集メモ

●札幌では、先月、真冬日が5日あり、105年ぶりに11月に真冬日を5日以上記録しましたが、12月に入ってから、平年よりも寒い日が続いています。

●リテラポプリーや北大時報をいつもご覧いただき、ありがとうございます。

す。本年も学内の皆様のご協力により、北大時報を発行することができました。お礼申し上げます。

広報誌はホームページでも紹介しています。現在、9誌掲載していますので、ぜひご覧ください。

◆<https://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/>



2016.12.23 札幌市電（内回り） 狸小路～西4丁目（札幌市）

北の鉄道風景 57 大雪の中を

昨年末の石狩地方を襲った大雪は記憶に新しいところだ。12月22日から降り始めた雪が降り積もり、翌23日夜の時点で、札幌市内では96cmの積雪となった。これは12月としては50年ぶりの記録的な積雪量なのだそうだ。札幌市内と同じく大雪に見舞われた新千歳空港では欠航便が相次ぎ、空港ターミナル中に留め置かれた乗客が数千人の規模に達するなど、大混乱となった。本来は大雪が降らないような時期

や地域で、大雪の被害が近年、増え続けているような気がするのは筆者だけであろうか。写真は大雪に襲われた12月23日の夜、札幌市電沿線の光景である。積もり続ける雪を除ける「ササラ電車」が頻繁に行き交っていた。

情報科学研究科 准教授 山本 学

北大時報 ⑫ No.765 平成29年12月発行

北海道大学総務企画部広報課 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

TEL：(011) 706-2610 / FAX：(011) 706-2092 / E-mail：kouhou@jimuhokudai.ac.jp

北大時報はインターネットでもご覧いただけます。 <https://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/jihou.html>